

研究者情報

2 0 2 0 年 度

金沢学院大学・金沢学院短期大学

目 次

◇金沢学院大学

学長(大学)	p. 1
副学長(大学)	p. 2
学長(短大)	p. 4
副学長(短大)	p. 5
文学部	p. 7
経済学部	p. 29
経済情報学部	p. 38
芸術学部	p. 46
人間健康学部	p. 54
基礎教育機構	p. 67

◇金沢学院短期大学 p. 73

現代教養学科
食物栄養学科
幼児教育学科

◇大学院担当教員 p. 86

◇教員索引

氏名(五十音順)	p. 87
--------------------	-------

金沢学院大学 学長

(Minoru Akiyama)

教授

秋山 稔

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本文学概説Ⅰ・Ⅱ 金沢まち学 他
- ② 生年月 : 1954/1
- ③ 出身学校 : 慶應義塾大学
- ④ 学位 : 博士(文学) 慶應義塾大学
- ⑤ 所属学会 : 日本近代文学会 昭和文学会 泉鏡花研究会 室生犀星学会
- ⑥ E-mail : akiyama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇岩波文庫『歌行燈』(2017. 6) ◇『泉鏡花 転成する物語』(2014. 4、梧桐書院) ◇「帰郷小説としての『縷紅新草』」(「昭和文学研究」64集、2012. 3) ◇「自然主義と鏡花」(「解釈と鑑賞」2009. 9) ◇「勝手口から戦場へー泉鏡花『勝手口』試論」(「日本近代文学」第七十九集、2008. 11) ◇『室生犀星事典』(2008. 9、鼎書房) ◇『新編 泉鏡花集』第1巻〈金沢一〉、第2巻〈同二〉、第9巻〈北陸〉(2003. 10、2004. 2、2004. 4、岩波書店) ◇『徳田秋聲金沢シリーズ 郷里金沢』『同 挿話・町の踊り場』『同 感傷的の事』(2005. 8、2005. 12、2006. 3、能登印刷出版部)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

泉鏡花・徳田秋聲を視点として近代文学史を再検討すること。

金沢学院大学 副学長

(Yukio Suido)

教授

水洞 幸夫

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 地域と文学 近・現代文学演習C 創作実践
- ② 生年月 : 1959/4
- ③ 出身学校 : 金沢大学
- ④ 学位 : 文学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本近代文学会
- ⑥ E-mail : suido@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「芥川龍之介『鼻』論」(『金沢学院大学紀要第9号』文学・美術・社会学編 2011年3月)
- ◇「芥川龍之介『羅生門』論—下人が盗人になる理由—」(『金沢大学国語国文34号』2009年3月)
- ◇「太宰治『家庭の幸福』論—ラジオ的な〈幸福〉を超えて—」(『太宰治研究16号』2008年6月)
- ◇「芥川龍之介『疑惑』試論—沈黙する「私」を超えるドラマー—」(『金沢学院大学紀要第6号』文学・美術・社会学編 2008年3月)
- ◇「芥川龍之介『お富の貞操』試論—〈可哀さう〉の射程—」(『金沢学院大学紀要第4号』文学・美術編 2006年3月)
- ◇「芥川龍之介『六の宮の姫君』試論」(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編 2005年3月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学。特に大正期の散文作品を中心に、その享受史も考慮しつつ、作品の新しい〈読み〉をさぐる。

金沢学院大学 副学長

(Hiroshi Takahashi)

教授

高橋 啓

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 公共政策論 医療政策論 地域振興論
日本経済史基礎 演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月月 : 1955/6
- ③ 出身学校 : 東北大学 法政大学大学院公共政策研究科
- ④ 学 位 : 博士(公共政策学)
- ⑤ 所属学会 : 日本公共政策学会 日本公益学会 医療経済学会 他
- ⑥ E-mail : h-takaha@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

(共著) ◇『データで振り返る北陸の50年』平成30年6月、北陸経済研究所

◇『サステイナブルな地域と経済の構想』平成28年2月、お茶の水書房

(単著論文)

◇「北陸の特徴を活かした産業創出と企業誘致の方向性に関する考察」金沢学院大学紀要第16号、p38-48、平成30年3月

◇「金沢マラソンランナーアンケートにみるマラソン参加者の観光動向」金沢学院大学紀要第16号、p49-62、平成30年3月

◇「公立病院の運営評価指標に関する考察」金沢学院大学紀要第15号、p97-110、平成29年3月

◇「公立病院の運営マネジメントに関する考察」金沢学院大学紀要第13号、p47-66、平成27年3月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

公共サービスの提供とその管理システムに関する研究

金沢学院短期大学 学長

人間健康学部健康栄養学科 学科長

(Mieko Kawamura)

教授 **川村 美笑子**



- ① 担当科目 : 基礎栄養学 応用栄養学 応用栄養学演習 他
- ② 生年月 : 1949/3
- ③ 出身学校 : 東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学
- ④ 学位 : 農学博士(東北大学)
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養学教育学会評議員 日本微量元素学会 他
- ⑥ E-mail : m-kawamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Inter- and intra-individual variation of food and nutrient consumption in a rural Japanese population. *European Journal of Clinical Nutrition*. 52:781-785(1999)共著◇Dietary habits and nutrient intake in non-alcoholic steatohepatitis. *Nutrition*. 23 : 46-52(2007)共著◇Metabolic analysis of vanadate and effect on neurochemical behavior as a result of chronic oral administration of vanadate. *Trace Elements in Man and Animals*, NRC Research Press, Canada. 220-223(2008)共著◇海洋深層水から精製した海水由来の新素材ートレハロース／ミネラル複合体の血漿マグネシウム回復および血糖低下作用－*Trace Nutrients Research*. 25 : 114-121(2008)共著◇アミノ酸スケールによる慢性腎不全患者の低タンパク食の評価.*Trace Nutrients Research*. 27 : 97-102(2010)◇Mg欠乏食-甘味料溶液継続摂取がマウス脳内セロトニン濃度に及ぼす影響.*Trace Nutrients Research*. 30:58-63(2013)共著◇食環境は脳機能にどのような変化を与えるか. *FOOD STYLE*. 21(8):42-48(2014)単著◇Relationship between the sense of confidence regarding dietary life and the nutrient intake of pregnant women.*Journal of Wellness and Health Care*. 43(2019)共著◇『乳幼児の発達---食べる・眠る・遊ぶ・繋がる』朝倉書店(2019)共著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

△微量栄養素の代謝と栄養的修飾

△食環境に由来する複合要因と脳・小腸機能に関する栄養生理学的研究

△地域の特性を重視した栄養生理学・栄養保健学的成果を社会システムの中に位置づける研究

金沢学院短期大学 副学長

(Kumiko Kouchi)

教授 **河内 久美子**

プレゼンテーション ビジネスソフト発展



① 担当科目 : 情報処理基礎Ⅰ 地域プロジェクト
ダイバーシティマネジメント論 他

② 生 年 月 : 1955/12

③ 出身学校 : 奈良女子大学大学院

④ 学 位 : 家政学修士

⑤ 所属学会 : 日本家政学会

⑥ E-mail : kouchi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「学生による授業アンケートの実施分析」(金沢学院短期大学 紀要第14号) ◇「子育て環境と色彩景観」(金沢学院短期大学 紀要第7号) ◇「The research of junior college's education in cooperation with indigenous industries I・II・III」(13th BIENNIAL ARAHE CONGRESS)) ◇「ジークフリード・ギーディオンの『change』の意味の考察」(金沢学院短期大学起用第1号) ◇「氷見の家」(氷見市) 木造一部鉄骨2階建専用住宅改築「T邸」(野々市市) 型枠補強CB造3階建専用住宅 ◇「小立野の家」(金沢市) 型枠補強CB造3階建専用住宅 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①短期大学における学習成果の査定手法 ②金沢の生活文化を題材にしたPBLのテーマ設定と指導法 ③シェアハウジングの事例研究 ④自治体による子ども・子育て支援情報のWeb発信について

◇金沢学院大学

- ・文学部
- ・経済学部
- ・経済情報学部
- ・芸術学部
- ・人間健康学部
- ・基礎教育機構

金沢学院大学 文学部

学部長 水洞 幸夫

	教授	准教授	講師	助教
文学科	秋山 稔 *日 石崎 建治 *歴 ○薮 際子 *日 水洞 幸夫 *日 R. W. カニンガム *英 寺田 智美 *日 中崎 崇志 *心 中島 彰史 *英 前川 浩子 *心	本多 俊彦 *歴 (中村 晋也 *歴) (坂東 貴夫 *英)	浅田 孝紀 *日 井内 健太 *日 靱江 静 *英 大上 真礼 *心 加来 奈奈 *歴 小島ジョニー *英 佐々木 聡 *歴 高橋 栄一 戸根比呂子 *歴 松村祐香里 *英 室橋 弘人 *心 R. グラッシ *英	
教育学科	岡 秀夫 小嶋祐伺郎 笠間 弘美 ○多田 孝志 田邊 俊治 藤原 正光 増渕 幸男 米澤 利明	木村 昭雄 佐田東 彰 塚崎 玲子 藤森 慎一 米川 泉子	奥泉 敦司 小平 豊彦 南雲 まき 乗富 章子 村松 麻里 山口 眞希	枝元香菜子 竹澤 賢樹 松下明日香

○：学科長

(五十音順)

*日 日本文学専攻
*歴 歴史学専攻

*英 英米文学専攻
*心 心理学専攻

(Kenji Ishizaki)

教授

石崎 建治

人文学研究科担当



- 日本史概説Ⅰ 古文書学演習Ⅰ 中世史演習Ⅰ・Ⅱ プレ
① 担当科目 : 卒業研究演習 文献資料研究法Ⅱ 卒業研究 日本歴史
文化学特論Ⅰ・Ⅱ 他
② 生 年 月 : 1964/5
③ 出身学校 : 早稲田大学
④ 学 位 : 文学修士 (早稲田大学)
⑤ 所属学会 : 日本歴史学会 日本古文書学会 史学会 他
⑥ E-mail : ishizaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「織田信長『鱗』字型花押の含意」(『日本歴史』第664号 2003年9月) ◇「本能寺の変と上杉景勝」(『日本歴史』第685号、2005年6月) ◇「室町幕府徳政令発布時における礼銭礼物と分一銭の関係」(『古文書研究』第57号、2003年5月) ◇「中世東国社会における永楽通宝選好性の一要因」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月) ◇「『謙信公御書集』の史料性格に関する一考察」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第8号 2010年3月) ◇「貨幣を教材・主題とした高等学校地理歴史科・中学校社会科授業の実践的研究(Ⅰ)」(『金沢学院大学紀要』第15号 2017年3月) ◇「上洛直後の織田信長と足利義昭」(『日本歴史』第846号、2018年11月) ◇「本能寺の変と細川氏の進退」(『日本歴史』第863号 2020年4月) 『加賀藩御算用者猪山直之日記』(時鐘舎 2010年10月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本中世政治史 日本中世社会における貨幣流通 加賀藩武家社会研究 「叡山文庫」所蔵資料を中心とした中近世移行期近江坂本の復元的研究(令和2年度科研費基盤研究(C)採択課題)

(Kiwako Shitomi)

教授

蒨 際子

人文学研究科担当



- 近・現代文学演習B 近・現代文学特殊講義B 現代文章
① 担当科目 : 論 創作入門 プレ卒業研究演習 卒業研究 他
② 生 年 月 : 1964/3
③ 出身学校 : お茶の水女子大学
④ 学 位 : 文学修士
⑤ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 お茶の水女子大学国語
国文学会
⑥ E-mail : kiwako@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『[新編] 日本女性文学全集 第9巻』解説(曾野綾子・林京子・宮尾登美子)2019
◇「宇野浩二(浩二)の少女小説-「少女画報」掲載作から」(『金沢学院大学紀要』16、2018)
◇「水芦光子のミステリー小説-『贗』・『水の花火-加賀藩噴水考-』の周辺-」(『金沢学院大学文学部紀要』11、2013)
◇「宇野浩二の大患前兆期-「円本もれ事件」をめぐって-」(『金沢学院大学文学部紀要』10、2012)
◇『金沢を描いた作家たち』共著、2011
◇「一つのマリリン理解-曾野綾子『砂糖菓子が壊れるとき』」(『金沢学院大学紀要』8、2010) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 宇野浩二を視座とした近代文学研究 ② 曾野綾子研究

(Cunningham Robert Wesley)

教授

R.W. カニングム



- ① 担当科目 : 英語ⅠA 英語ⅡA English writing 他
- ② 生年月 : 1967/10
- ③ 出身学校 : Wittenberg University
- ④ : 文学士
- ⑤ 所属学会 : MAJ (Moodle Association of Japan)
ETJ (English Teachers in Japan)
- ⑥ E-mail : wes@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

論文◇「Simple Gamification in Moodle Using the TaskChain Module」(金沢学院短期大学紀要第58集 2017)◇「A Survey of students' perceived effectiveness, enjoyability and feedback after studying in a blended, face-to-face and online English course using Moodle: Report on student responses gathered at the end of the first semester of 2011」(金沢学院短期大学紀要第53集 2012)◇「Report on a hybrid (face to face and online) English course, developed specifically to encourage self-study habits, notebook writing skills, pair oriented speaking tasks and basic paragraph writing skills for students with rudimentary English ability and decreased motivation.」(金沢学院短期大学紀要第52集 2011)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Moodle で CALL(Computer Assisted Language Learning) を利用して、IT 利用の英語学習で学生のモチベーション(意欲)・リスニングの力を高めること。e-learning と CALL、即ち「コンピュータ利用学習」で、特に「多様な学習者レベル」用の英語学習教材開発が中心である。

(Tomomi Terada)

教授

寺田 智美

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語学概説Ⅰ・Ⅱ 日本語教育学Ⅰ・Ⅱ 日本語学演習
日本語教育学演習 日本語学特殊講義 他
- ② 生年月 : 1966/8
- ③ 出身学校 : 早稲田大学
- ④ 学位 : 修士(教育学)(早稲田大学)
- ⑤ 所属学会 : 日本語学会 日本語教育学会 日本国語教育学会 全国
大学国語教育学会 他
- ⑥ E-mail : teradato@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「研究ノート『方言修行 金草鞋』を読み解くー十返舎一九が描いた石川県ー」(金沢学院大学教育センター紀要)第2号(2018.3)◇「文学の映像化作品を使った文章表現指導の試みー劇場用アニメ『銀河鉄道の夜』の1シーンを描きだすー」(金沢学院大学紀要)第15号(2017.3)◇『新明解類語辞典』(執筆協力、三省堂、2015.8)◇「代名詞の史的変遷」(『品詞別学校文法講座 第2巻 名詞・代名詞』、明治書院、2014.2)◇『三省堂国語辞典 第七版』(執筆協力、三省堂、2013.12)◇「『厚生新編』翻刻とノート(1)」(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編)第10号(2012.3)◇「高校留学生に対する日本語教育の問題と課題」(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編)第9号(2011.3)◇「〈日本事情〉教材に描かれる〈日本〉」(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編)第8号(2010.3)◇「翻刻『明治浮世風呂(二)』」(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編)第6号(2008.3)◇「夏目漱石の小説にみえる「相対女性語」の考察」(「紀要」16 早稲田大学日本語研究教育センター 2003.5)◇「早稲田大学蔵『助詞考』二種の比較考察」(「早稲田大学図書館紀要」50、2003.3) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近代日本語 言語教育

(Takashi Nakazaki)

教授

中崎 崇志



- 心理学概論 A 学習・言語心理学 知覚・認知心理学 心理学実験 I 実験計画法 認知学習心理学演習 I・II 学修基礎 a・b
- ① 担当科目 : 心理学実験 I 実験計画法 認知学習心理学演習 I・II 学修基礎 a・b
- ② 生年月月 : 1970/9
- ③ 出身学校 : 金沢大学
- ④ 学位 : 博士(文学)(金沢大学)
- ⑤ 所属学会 : 日本心理学会 日本動物心理学会 北陸心理学会 教育システム情報学会
- ⑥ E-mail : nakazaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「陶芸における「菊練り」の習得を目指した教育プログラムの開発ー「菊練り」動作の解析の観点からー(共著『金沢学院大学紀要』第17号 2019年) ◇「意思決定過程研究へのオペラント変動性の視点の導入」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号 2011年) ◇「変動性研究の新しい方向性を探る:創造性,意思決定,動機づけとの関連」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号 2009年) ◇「学生支援推進プログラム 2009-2011 2011年度報告」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第10号 2012年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 得済みの行動の遂行中に起こるエラーとその原因の分析 ② 同じ目的のために、行動のバリエーションをどれくらい持てるか ③ 注意の配分と、情報処理および行動調整の関係

(Ayahumi Nakajima)

教授

中島 彰史



- ① 担当科目 : 英語音声学 I・II
- ② 生年月月 : 1958/5
- ③ 出身学校 : 名古屋大学
- ④ 学位 : 文学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本言語学会 日本英語学会 日本認知言語学会
- ⑥ E-mail : nakajima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英語の to 不定詞補文と ing 補文」(『金沢学院大学紀要』第16号 2018年) ◇「英語の句動詞における不変化詞の意味論」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第7号 2009年3月) ◇「コーパスデータに基づく英語心理動詞の分析」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第3号 2005年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

言語の形態構造や文法構造と意味・概念構造との間にいかなる関連性があるのかを類型論的に研究している。

(Hiroko Maekawa)

教授

前川 浩子



- 心理学概論 B 発達心理学 感情・人格心理学 教育・学
- ① 担当科目 : 校心理学 対人関係の心理学 多変量解析法 発達心理学演習 I・II プレ卒業研究演習 卒業研究 FSP 講座
- ② 生年月 : 1977/5
- ③ 出身学校 : 慶應義塾大学
- ④ 学位 : 博士(教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会 日本パーソナリティ心理学会 日本双生児研究学会 他
- ⑥ E-mail : maekawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇陶芸における「菊練り」の習得を目指した教育プログラムの開発-「菊練り」動作の解析の観点から-、金沢学院大学紀要, 第 17 号, 180-189, 2019. ◇「子どもにおけるやせ願望の背景(『子どもと発達発達』第 14 号, 203-209, 2016 年) ◇「どうして他人と比べるのをやめられないのか? (松本俊彦・岩室紳也・古川潤哉(編)(『こころの科学 中高生からのライフ&セックスサバイバルガイド』, 日本評論社, 30-37, 2016 年) ◇対人関係から見る摂食障害(安藤 寿康・鹿毛雅治(編著)教育心理学『教育の科学的解明をめざして』慶應義塾大学出版会 2013 年)

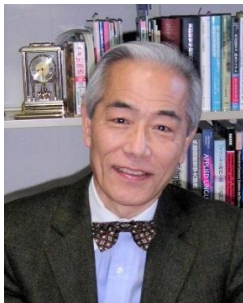
II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

重要な他者とのコミュニケーションの良好さと精神的健康との関連 幼児期におけるきょうだいに對する親の養育の異同と子どもの社会性の関連

(Hideo Oka)

教授

岡 秀夫



- ① 担当科目 : 英語学特論 言語習得研究
- ② 生年月 : 1946/1
- ③ 出身学校 : 広島大学、広島大学大学院、イギリス・レディング大学大学院
- ④ 学位 : 修士(教育学)、MA in Applied Linguistics
- ⑤ 所属学会 : 大学英語教育学会(JACET) 日本言語テスト学会
- ⑥ E-mail : oka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『英語を学ぶ楽しみ-国際コミュニケーションのために-』(くろしお出版、2018) ◇『小学校英語教育の進め方-「ことばの教育」として-』(成美堂、2012) ◇岡秀夫(編著)、飯野厚他(著)『新・グローバル時代の英語教育-新学習指導要領に對した英語科教育法』成美堂 2020/1 pp. 233 (第 1、2 章を分担執筆) ◇『外国語教育学研究のフロンティア-四技能から異文化理解まで-』(成美堂、2009) ◇『バイリンガル教育と第二言語習得』(大修館書店、1996)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 第二言語能力の仕組みとそれがいかに機能するのか
- ② 外国語能力の指導と評価-CALP の観点から

(Yujiro Ojima)

教授

小嶋 祐伺郎



- 初等教科教育法(社会) 道德教育の指導法 地球市民論
社会 総合学習指導法 地域協働と教育資源活用 保育
内容(環境) 子ども教育学基礎セミナー 持続可能な教育(ESD) 概説
- ① 担当科目 :
② 生年月 : 1956/5
③ 出身学校 : 広島大学教育学部 広島大学大学院学校教育研究科社会
科教育専攻
④ 学位 : 修士(学校教育学)
⑤ 所属学会 : 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会 日本道德教
育学会 日本ESD学会
⑥ E-mail : o-yujiro@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『新社会科授業づくりハンドブック中学校編』(共著)(明治図書 2015)◇『グローバル時代の国際理解教育～理論と実践をつなぐ～』(共著)(日本国際理解教育学会 2010)◇『教員養成大学におけるグローバル人材育成を考える報告書』(共著)(奈良教育大学国際交流留学センター 2017)◇『地球市民意識を育む道德性育成の実践的研究～多文化共生社会における市民性育成の視点から～』(単著)(奈良教育大学次世代教員養成センター紀要 2017)◇『事典 持続可能な社会と教育』(共著)(教育出版 2019)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

包摂的社会構築のための学校教育の在り方

～共生社会とそれを支える価値を問い直す学び～

(Hiromi Kasama)

教授

笠間 弘美



- 英語 I・II 英語学概論 英語文法論 ビジネス英語 I・II
他
- ① 担当科目 :
② 生年月 : 1960/2
③ 出身学校 : 龍谷大学/(米)セント・マイケルズ大学大学院
④ 学位 : MA(TESL)
⑤ 所属学会 : 日本マンスフィールド協会 大学英語教育学会 日本英語教育史
学会 日本ニュージャーナリスト学会
⑥ E-mail : kasama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『マンスフィールド事典』(共著)文化書房博文社 2007年10月◇「'Life of Ma Parker'に見るマンスフィールドの孤独描写に関する一考察」『マンスフィールド研究』第11号日本マンスフィールド協会 2018年10月◇「A Review of the Leading Methods of Foreign Language Teaching Thus Far: Toward the English Education of the Future」『金沢学院大学紀要』第16号 2018年3月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① コーパス処理に基づく文学作品の文体研究 ②英語教科書の国際比較など

(Takashi Tada)

教授 **多田 孝志**



- ① 担当科目 : 国際理解教育概論 多文化理解概論 他
- ② 生年月 : 1945/8
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学
- ④ 学位 : 博士(学校教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会 日本環境教育学会
- ⑥ E-mail : tada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『学校における国際理解教育』(単著)(東洋館出版、1997年) ◇『地球時代の教育とは』(単著)(岩波書店、2000年) ◇『授業で育てる対話力』(単著)(教育出版、2011年) ◇『現代国際理解教育事典』(日本国際理解教育学会編、編纂委員長、明石書店、2012年) ◇『持続可能な社会のための教育』(佐藤学 諏訪哲郎 木曾功 多田孝志編著、教育出版、2015年) ◇『教育のいまとこれからを読み解く57の視点』(多田孝志編集代表、教育出版、2017年) ◇『グローバル時代の対話型授業の研究』東信堂 ◇『対話型授業の理論と実践』教育出版

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

対話型授業研究 生物多様性 間論 教師教育

(Shunji Tanabe)

教授 **田邊 俊治**



- ① 担当科目 : 教職論、教育制度論、教育経営概論 他
- ② 生年月 : 1953/12
- ③ 出身学校 : 筑波大学大学院博士課程 教育学研究科
- ④ 学位 : 教育学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本教育学会、日本教育行政学会、日本比較教育学会、日本教育制度学会
- ⑥ E-mail : s-tanabe@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「教育委員会のエンリッチメント」『時報市町村教委』No. 284、全国市町村教育委員会連合会、2020年1月 ◇『『豊かな学校』の探究と教師教育』『2018年度金沢大学教職大学院フォーラム報告書』金沢大学教職実践研究科、2019年10月 ◇「近未来を展望する人材育成の現在」『平成30年度実践報告集』石川県教員総合研修センター、2019年3月 ◇“The challenging of teacher education at Graduate School: Towards refinement of teaching practice,” Vasil Haluzyak, et al. Sustainable Education as a Way of Bringing People Together: Multiple Stories from Europe, Spoleczna Akademia Nauk; Lodz-Warszawa, 2018

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

国内外の教育改革 学校組織デザイン 教育委員会制度に関する研究

(Masamitsu Fujihara)

教授

藤原 正光



- ① 担当科目 : 教育心理学 学級集団の心理学 他
- ② 生年月 : 1945/3
- ③ 出身学校 : 埼玉大学教育学部、都立大学大学院修士・博士課程心理学専攻
- ④ 学位 : 文学修士 (心理学)
- ⑤ 所属学会 : 日本心理学会 日本学校心理学会 日本学校心理士会
- ⑥ E-mail : m-fuji@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇藤原正光 (1976)「同調行動の発達的变化に関する実験的研究」心理学研究, 47 (4), pp193-201.
◇藤原正光 (2009)「学級集団形成に及ぼす諸要因の効果と社会心理学の動向」教育心理学年報, 42, pp52-67. ◇藤原正光・志賀彩奈 (2012)「自己表現スタイルに及ぼす学級での人気度と性差と状況要因の効果」文教大学教育学部紀要, 46, 95-104.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「子どもの自己表現スタイルと社会性の発達」

(Yukio Masubuchi)

教授

増淵 幸男



- ① 担当科目 : 教育原理
- ② 生年月 : 1945/9
- ③ 出身学校 : 上智大学文学部、上智大学大学院文学研究科
- ④ 学位 : 教育学博士 (慶應義塾大学)
- ⑤ 所属学会 : 関東教育学会 東北教育哲学教育史学会 日本ヤスパース協会 日本カトリック教育学会 三田教育学会
- ⑥ E-mail : masubuti@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『教育学の論理』(単著)(以文社 1986年) ◇『ヤスパースの教育哲学研究』(単著)(以文社 1989年) ◇『教育的価値論の研究』(単著)(玉川大学出版部 1994年) ◇『シュライアーマッハーの思想と生涯—遠くて近いヘーゲルとの関係』(単著)(玉川大学出版部 2000年) ◇『ナチズムと教育—ナチス教育政策の原風景』(単著)(東信堂 2004年) ◇『「いのちの尊厳」教育とヒューマニズムの精神—生命科学との対話を求めて』(単著)(上智大学出版 2010年) ◇『グローバル化時代の教育の選択 高等教育改革のゆくえ』(単著)(上智大学出版 2010年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

人権教育の歴史的展開と今日的課題

教育と農の共通地平

師論の新たな展望

(Toshiaki Yonezawa)

教授 **米澤 利明**



- 「チーム学校」と学校組織マネジメント 特別活動の理論
① 担当科目 : と実践 初等教科教育法(理科) 理科 地域教育事情研究 他
② 生年月月 : 1953/2
③ 出身学校 : 上越教育大学大学院
④ 学 位 : 教育学修士
⑤ 所属学会 : 日本学校教育学会 アメリカ教育学会 日本個性化教育学会
⑥ E-mail : t-yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『教育の今とこれからを読み解く 57 の視点』(共著)(教育出版、2016 年) ◇「人材育成のためのチーミングによるメンターチームマネジメントーK小学校の特別活動の指導を事例としてー」(共著)(『共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究第1号』、pp.109-116、2016 年) ◇「学校の経営行為の変革とリーダーシップに関するー考察ー『学習する組織』論からのアプローチ」平成 30 年 11 月、共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第 3 号、pp.26-36 ◇「校長の経営行為と教員の協働によるチーム学習に関するー考察ー個別支援学級における学級指導の事例を通してー」平成 30 年 11 月、『金沢学院大学教職センター紀要』第 2 号、金沢学院大学教職センター、pp.140-165

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

理論と実践の往還を踏まえた「教育実践学研究」の在り方についての研究に取り組んでいます。

(Toshihiko Honda)

准教授 **本多 俊彦** 人文学研究科担当



- 日本史概説Ⅱ 古文書学演習Ⅱ 古文書学実習Ⅰ・Ⅱ 文献資
① 担当科目 : 料研究法Ⅰ 近世史演習Ⅰ・Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究
キャリアデザインⅡ・Ⅲ
② 生年月月 : 1972/8
③ 出身学校 : 富山大学大学院人文科学研究科
④ 学 位 : 修士(文学)
⑤ 所属学会 : 日本古文書学会 日本史研究会 加能地域史研究会 地方史研究協議会 加賀藩研究ネットワーク 他
⑥ E-mail : t-honda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇伊藤俊一等共編『東寺廿一口供僧方評定引付』第 1～4 巻、思文閣出版、平成 14～31 年 ◇「加賀藩知行宛行状の古文書学的検討」、『加能地域史』第 56 号、平成 24 年 ◇「加賀藩における本多政重登用の再検討」、『高岡法科大学紀要』第 26 号、平成 27 年 ◇「福井藩の知行宛行状について」、『古文書研究』第 80 号、平成 27 年 ◇「前田利常後見期の加賀藩知行宛行状について」、湯山賢一編『古文書料紙論叢』勉誠出版、平成 29 年 ◇「青地家伝来の織田氏発給文書について」、『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』79 号、平成 29 年 ◇「文書料紙調査の観点と方法」、小島浩之編『東アジア古文書学の構築ー現状と課題ー』、平成 30 年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇近世大名家関連文書の古文書学的検討 ◇「加賀八家」本多家伝来文書を中心とした加賀藩政史研究 ◇近世を中心として古文書料紙研究 ◇東寺旧蔵文書(国宝「東寺百合文書」など)を素材とした室町期政治史・寺院史研究

(Akio Kimura)

准教授

木村 昭雄



- ① 担当科目 : 教育課程論 生徒・進路指導論 総合学習指導法
- ② 生年月 : 1956/5/
- ③ 出身学校 : 新潟大学教育学部, 横浜国立大学大学院教育学研究科
- ④ 学位 : 修士
- ⑤ 所属学会 : 日本学校教育学会
- ⑥ E-mail : ak-kimura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『特別活動のための実践的ナビゲーションブック 特別活動Q&A 特別活動の問い 119 に応える』(共著) 横浜市立小学校特別活動研究会◇『教師力向上の鍵 メンターチームが教師を育てる、学校を変える!』(共著) 時事通信社◇「人材育成のためのチームングによるメンターチームマネジメントーK小学校の特別活動の指導を事例としてー」(共著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第1号, pp. 109-116◇「社会に開かれた教育課程に関する一考察ーカリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間の実際ー」(単著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第4号 pp. 70-79◇「いじめ事案への対応を通じた「チーム学校」による児童指導に関する一考察」(共著) 共創型対話学習研究所所報『未来を拓く教育実践学研究』第4号 pp. 101-112◇「障害をもつ子どもの通常学級への通学ニーズに応える「チーム学校」の運営に関する研究ー学校と地域との協働の事例を通してー」(共著) 金沢学院大学教職センター編『金沢学院大学教職センター紀要』第3号 pp. -

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

当該教育実践の価値はどこにあるのか? 実践と理論の往還に関する研究 チームング理論による組織的人材育成に関する研究、特別活動実践研究

(Akira Saitou)

准教授

佐田東 彰



- ① 担当科目 : インクルーシブ教育概論 保育の心理学 幼児理解と教育相談 教育相談 障がい児保育 障がい児教育
- ② 生年月 : 1962/7
- ③ 出身学校 : 日本大学法学部、上越教育大学大学院障害児教育研究科
- ④ 学位 : 修士
- ⑤ 所属学会 : LD学会 行動分析学会 特殊教育学会
- ⑥ E-mail : a-saito@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇通常の学級に在籍する児童への特別支援学校のセンター的機能を通じたわり算指導に関する一考察ー認知アセスメントに基づく九九の自動化とわり算手順表の視覚教材を用いた指導ー平成31年2月, 『LD研究』第28巻第1号(111~132頁) ◇算数障害を有する児童に対する九九の自動化のための学習支援ー認知特性と九九のつまずきの分析からー, 平成30年3月, 『上越教育大学研究紀要』第37巻第2号, 上越教育大学 (371~383頁) ◇強い反抗性を示すADHD児の問題行動と学級全体の問題行動に対する支援ークラスワイドな支援と個別支援を組み合わせた支援過程の妥当性ー, 平成29年5月, 『LD研究』第26巻, 第2号, 日本LD学会 (253-269頁) ◇計数行動が困難な自閉症スペクトラム障害児に対する刺激等価性を用いた指導, 平成30年3月, 『金沢学院大学教職センター紀要』第1号, 金沢学院大学 (183-198頁) ◇自閉症スペクトラム障害のある幼児の不規則発言の減少と適切行動の増加, 平成29年3月, 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要』第23巻, 上越教育大学, (49~56頁)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

通常の学級における特別な支援を要する幼児児童生徒への支援 問題行動への支援 学習障害への支援

(Reiko Tsukasaki)

准教授 **塚崎 玲子**



- ① 担当科目 : 英米文学概論 文化比較論 英米文学講読 A・B 基礎英語 I・II 英語 I・II 子ども教育学基礎セミナー I・II
- ② 生年月 : 1961/8
- ③ 出身学校 : 富山大学
- ④ 学位 : 文学修士 (奈良女子大学)
- ⑤ 所属学会 : 日本英文学会 日本フランス語フランス文学会 奈良女子大学英語英米文学会
- ⑥ E-mail : tukasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「『嵐が丘』の舞台裏―大農家としての風景―」日本英文学会『英文学研究』支部統合号第一巻 2009.1 ◇「ヒースクリフはなぜジプシーなのか―『嵐が丘』に潜む歴史的背景―」『文学と女性』英宝社 2000.11 ◇“Word Frequency in the Poems of Emily Brontë”(Brontë Society Transactions Volume25, part2. Maney Publishing, Leeds. October2000) ◇「キャサリン・アーンショーの『秘密』」『エミリ・ブロンテ論』開文社出版 1998.10 ◇Wuthering Heights における空白期間についての考察」日本英文学会中部支部『中部英文学』第15号 1996.3 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Wuthering Heights を理解するのに必要な、歴史的・文化的背景の掘り起こしを行っている。

(Shinichi Fujimori)

准教授 **藤森 慎一**



- ① 担当科目 : 算数 学校インターンシップ 他
- ② 生年月 : 1953/3
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学、金沢大学大学院
- ④ 学位 : 修士
- ⑤ 所属学会 : 日本数学教育学会
- ⑥ E-mail : fujimori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

初等科数学科教育学序説の研究会、石川算数サークル主宰等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

算数科教材研究論

(Motoko Yonekawa)

准教授

米川 泉子



- ① 担当科目 :
- ② 生 年 月 : 1980/4
- ③ 出身学校 : 上智大学大学院
- ④ 学 位 : 修士(教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本保育学会 教育哲学会 関東教育学会 日本カトリック教育学会
- ⑥ E-mail : yonekawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「第8章 遊びによる総合的な保育」佐藤哲也編著『子どもの心によりそう保育内容総論〔改訂版〕』、114～123 頁、2018 年、福村出版。◇「第8章 保育内容—遊びを通じての保育」佐藤哲也編著『子どもの心によりそう保育原理〔改訂版〕』、96～107 頁、2018 年、福村出版。◇◇「第15章 現代における言葉の諸問題」谷田貝公昭監『新版保育内容「言葉」』157～166 頁、2018 年、一藝社。◇「第5章 人との関わりの基盤—アタッチメント関係の形成—」谷田貝公昭監『新版保育内容「人間関係」』48～56 頁、2018 年、一藝社。◇「第15章 現代社会に生きる10代と向き合うのは?—10代と秘密から考える」井藤元編『ワークで学ぶ教職概論』ナカニシヤ出版、2017 年。◇「第3章 子どもの物語からみた家庭団欒—子どもの望み」鈴木昌世編『「家庭団欒」の教育学—多様化する家族の関係性と家庭維持スキルの応用—』福村出版、2016 年。◇「第17章 戦後の道德教育はどう変化したのか?—戦後～「特別の教科 道德」(仮称)まで—」井藤元編『ワークで学ぶ道德教育』ナカニシヤ出版、2016 年。◇「雑誌『保育』に見られる保育カリキュラムについて—戦後から「保育要領」刊行まで—」「目白大学総合科学研究紀要」第12号、pp. 45～52、2016 年。◇「幼年期の道德性と国際理解の芽生えの場としての幼年童話—“The Hundred Dresses”(1944)の改訂から—」共創型対話学習研究所『未来を拓く教育実践学研究』第1号、75～82 頁、2016 年。◇「第17章 未来の人材に求められることは?—異なる文化の他者とともに生きる」井藤元編『ワークで学ぶ教育学』ナカニシヤ出版、2015 年。◇『曖昧な存在としての幼年童話を考える—幼年期の曖昧性—』「聖霊女子短期大学紀要」第42号、57～67 頁、2014 年。◇「絵本と児童文学のはざまにある幼年童話を考える—幼年童話論への試み—」「聖霊女子短期大学紀要」第41号、81～91 頁、2013 年。他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

幼児期から児童期にかけての子どもと幼年童話の教育人間学的意義について

(Takaki Asada)

講師

浅田 孝紀



- ① 担当科目 : 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ 日本語文法Ⅰ・Ⅱ 日本語表現法Ⅰ・Ⅱ
- ② 生 年 月 : 1963/9
- ③ 出身学校 : 早稲田大学 筑波大学大学院博士課程教育学研究科
- ④ 学 位 : 教育学修士
- ⑤ 所属学会 : 全国大学国語教育学会・日本国語教育学会・日本教育方法学会・日本教師教育学会・日本演劇学会・日本読書学会 他
- ⑥ E-mail : t-asada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『言語文化教育の道しるべ—高校国語教育の理論と実践—』(明治書院 2018) ◇『高等学校国語科 新科目編成とこれからの授業づくり』(共編著)(東洋館出版社 2018) ◇『中学校・高等学校 文学創作の学習指導 実践史をふまえて』(共著)(溪水社 2018) 等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- 「言語文化」概念の成立と変容
- 「演劇鑑賞教室」の学校教育・国語教育における位置づけ
- 古典教材の読解における学習者の推論の過程
- 話し言葉教育における語用論的アプローチと演劇的活動の効果
- 国語科の教員養成・現職教員研修における ALACT モデルの活用 など

(Kenta Inouchi)

講師

井内 健太

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 卒業研究 プレ卒業研究演習 古典文学演習 古典文学
講読Ⅰ・Ⅱ 漢文学講読Ⅰ・Ⅱ 国語科教育法Ⅰ 他
- ② 生年月 : 1988/4
- ③ 出身学校 : 東京大学大学院 人文社会系研究科
- ④ 学位 : 修士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 東京大学国語国文学会 中古文学会
- ⑥ E-mail : inouchi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『源氏物語』藤壺の密通における「心の鬼」について(『国語と国文学』、2016年) ◇『源氏物語』花宴の史実と虚構——「探韻」を中心に(『むらさき』、2016年) ◇『源氏物語』における冷泉帝の罪について(『東京大学国文学論集』、2017年) ◇『源氏物語』須磨・明石巻の天変(『国語と国文学』、2017年) ◇『源氏物語』柏木の密通事件における意識(『東京大学国文学論集』、2018年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

『源氏物語』を中心とする中古文学

(Shizuka Utsubo)

講師

靱江 静

- ① 担当科目 : 英語学概論Ⅰ・Ⅱ 英語学講読Ⅰ・Ⅱ 英語文法論Ⅰ・Ⅱ
言語学演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1970/11
- ③ 出身学校 : 東京都立大学大学院 人文科学研究科
- ④ 学位 : 博士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 日本英語学会 日本語用論学会 言語科学会 日本第二
言語習得学会
- ⑥ E-mail : utsubo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英語の“～ing 形＋名詞”と日本語の『～している名詞』」,(論文集への寄稿論文)『<不思議>に満ちた言葉の世界: 中島平三教授退職記念論文集』, 高見健一, 行田勇, 大野英樹編, pp. 295-299, 開拓社, 2017. 3. ◇「ヘンリー・スイート」(Henry Sweet の章)(翻訳、及び音韻論と音声学に関する注の付記), 『ことばの思想家50人』, 中島平三, 瀬田幸人, 田子内健一監訳, pp. 125-130, 朝倉書店, 2016. 8. ◇Function-Driven Movement: Left-Peripheries in English (2012年度科研費研究成果公開促進費獲得、課題番号245060), 単著, 開拓社, 全203頁, 2017. 1. ◇「補文内の話題化と否定構成素の前置」(論文集への寄稿論文), 『言語科学の真髄を求めて: 中島平三教授還暦記念論文集』, 鈴木右文, 水野佳三, 高見健一(編), pp. 225-237, ひつじ書房 2006. 8

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

人間の脳の言語機能、統語論と語用論の原理原則の関係性、

日本人英語学習者が英語学習する際の日本語の統語論と語用論の原理原則の影響

(Maaya Ooue)

講師

大上 真礼



臨床心理学概論 心理学の支援法 関係行政論 心理学

① 担当科目 : 実習(検査法, 面接法) 臨床心理学演習 プレ卒業研究演習 卒業研究

② 生年月 : 1987/12

③ 出身学校 : 東京大学, 東京大学大学院教育学研究科

④ 学位 : 博士(教育学)

⑤ 所属学会 : 日本心理学会, 日本心理臨床学会, 日本感情心理学会 他

⑥ E-mail : ooue@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇前期高齢者の「むなしさ」の生起・維持プロセス—発達段階での特徴に着目して— 感情心理学研究, 23(1), 1-10, 2015. ◇ディタッチト・マインドフルネスの促進を目的としたゲーム・アプリケーションの可能性の検討——アプリの開発と実証試験を通して—— マインドフルネス研究 2(1), 1-7, 2017. (共著) ◇「女子力」と「男らしさ・女らしさ」に違いはあるか—測定語の変遷に着目して— 田園調布学園大学紀要, 11, 169-188, 2017. (共著) ◇第6章 学級集団の理解と活用 谷口明子・廣瀬英子(編) 育ちを支える 教育心理学 学文社 pp. 60-72, 2017.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高齢者が感じる「むなしさ」について 大学院生のメンタルヘルスとそれに影響する要因 「女子力」の意味すること、若者の「女子力」への態度

(Nana Kaku)

講師

加来 奈奈

人文学研究科担当



西洋史概説 I・II 西洋史文献講読 I・II 西洋政治史 西洋史

① 担当科目 : 演習 西洋史特殊講義 プレ卒業研究演習 卒業研究 学修基礎 a・b 世界の歴史

② 生年月 : 1982/11

③ 出身学校 : 奈良女子大学

④ 学位 : 博士(文学)

⑤ 所属学会 : 日本西洋史学会 西洋史世学会 ハプスブルク研究会 ブルゴーニュ公国史研究会 ベルギー研究会 他

⑥ E-mail : kaku@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「ブルゴーニュ・ハプスブルク期のネーデルラント貴族—フランスとの境界をめぐる問題とハプスブルクの平和条約での役割」(藤井美男編『ブルゴーニュ国家の形成と変容—権力・制度・文化』九州大学出版会 2016 年) ◇「ネーデルラントの統一と分裂」(大津留厚・水野博子・河野淳・岩崎周一編『ハプスブルク史研究入門—歴史のラビリンスへの招待』昭和堂、2013 年) ◇「16 世紀前半ネーデルラントの統一と涉外活動—1529 年カンブレ平和条約履行におけるネーデルラント使節ジャン・ド・ソーの機能」(岩本和子・石部尚登編『「ベルギー」とは何か?—アイデンティティの多層性—』松籟社、2013 年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近世のネーデルラント(現在のベネルクスに相当)の政治外交史。16 世紀前半のハプスブルク家とフランス王家との戦いの中で、ハプスブルク支配下のネーデルラントから派遣される使節が、ヨーロッパの平和構築の際に果たす役割を研究している。

(Joni Kojima)

講師

小島 ジョニー



- ① 担当科目 : 英文学と英国社会 原典購読Ⅰ・Ⅱ 英米文学概論Ⅱ
- ② 生年月 : 1993/12
- ③ 出身学校 : 慶應義塾大学
- ④ 学位 : 修士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 日本中世英語英文学会
- ⑥ E-mail : johnny-k@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ “Seraphim as a Contemplative Topos in Medieval English Writings” (修士論文)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

神秘主義に興味がある。

(Satoshi Sasaki)

講師

佐々木 聡

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 東洋史概説Ⅰ・Ⅱ 東洋史文献講読Ⅰ・Ⅱ 東洋史演習 東洋史特殊講義 プレ卒業研究演習 卒業研究 学修基礎 FSP 講座
- ② 生年月 : 1982/4
- ③ 出身学校 : 金沢大学、東北大学大学院
- ④ 学位 : 博士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 北陸史学会 東アジア恠異学会 日本中国学会 日本道教学会 東方学会
- ⑥ E-mail : s-sasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ 「ベトナム阮朝における天文五行占の受容と禁書政策」(水口幹記編『前近代東アジアにおける
勉誠出版、2020年) ◇ 「中国古代・中世の鬼神と自然観: 「自然の怪」をめぐる社会史」(山中由里
編『この世のキワ』勉誠出版、2019年) ◇ 「異と常: 漢魏六朝における祥瑞災異と博物学」(東ア
編『怪異学の地平』臨川書店、2018年) ◇ 『復元白沢図: 古代中国の妖怪と辟邪文化』(白澤社、2017年)
緯含文嘉・精魅篇》的辟邪思想与鬼神観」(中国語、『復旦学報(社会科学篇)』2014年・第5期
経』の諸抄本と近世以降の伝来について」(『日本中国学会報』第64集、2012年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

儒教理念の一つである祥瑞災異思想を背景とした占術文化の研究。特に、中国歴代王朝における
統制管理と社会受容の実態、東アジア諸国への伝播状況などについて。

(Eiichi Takahashi)

講師

高橋 栄一



- ① 担当科目 : 人文地理学概説Ⅰ・Ⅱ 地理学 社会科・地歴科教育法
特別活動 教育実地研究 教育実践演習 教育実習Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1958/8
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学
- ④ 学位 : 修士(教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本地理学会 日本地理教育学会 日本グローバル教育学会 学芸地理学会 石川地理学会
- ⑥ E-mail : e-takahasi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「草津本白根火山の地形地質と植物群落」◇「野外における子どもの空間認知構造に関する研究」—水平・垂直距離の場合—◇「白山麓におけるスキー場を中心とした観光開発から通年リゾートへ」◇「新しい高校地理のスコープとシークエンスをめざして」◇「地理教育の活性化を考える：文系科目としての高校「地理」の成熟を目指して」◇「異文化研究」カリキュラム開発—SGH, 研究課題「異文化研究」実践報告—◇「地形と地形図の学習に関する授業方法の一試案～立体模型・3Dソフトを有効利用した授業の試み～」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

・効果的なアクティブラーニングを取り入れた社会科授業実践方法の研究。・高等学校における総合的な探求の時間の実践方法の研究。・新指導要領に基づく高等学校地理歴史科の新科目のスコープとシークエンス。・society5.0時代の双方向の活動を重視した授業の研究。・教員養成に資する効率的な指導方法の研究

(Hiroko Tone)

講師

戸根 比呂子



- ① 担当科目 : 考古学概説Ⅰ・Ⅱ 考古学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 古代学演習Ⅰ・Ⅱ 考古学実習Ⅰ・Ⅱ 文化財の保護と活用 考古学特殊講義 プレ卒業研究演習 卒業研究
- ② 生年月日 : 1981/7
- ③ 出身学校 : 京都大学
- ④ 学位 : 修士
- ⑤ 所属学会 : 石川考古学研究会、日本玉文化学会、江沼地方史研究会 文化財写真技術研究会
- ⑥ E-mail : tone@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「『東海系』の玉の流通」(『玉文化』第5号 日本玉文化研究会 2008年) ◇「弥生時代玉文化研究の展望」(『玉文化』第10号 日本玉文化研究会 2013年) ◇「七観古墳出土の玉」(『七観古墳の研究—1947年・1952年出土遺物の再検討—』(平成19～21/22～24年度科学研究費補助金(若手研究(B)／(A))研究成果報告書) 京都大学大学院文学研究科 2014年) ◇「片山津玉造遺跡の研究の現状と課題」(『加賀・能登王墓の世界』石川県立歴史博物館 2016年) ◇「北陸における弥生時代の玉研究」(『考古学ジャーナル』No.739 2020年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

弥生・古墳時代の玉類の生産と流通。身近な石川県下の研究を整理しつつ、今後は朝鮮半島など周辺諸国の情勢も視野に入れていきたいと思っています。

(Yukari Matsumura)

講師

松村 祐香里

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 英米文学概論Ⅰ 英米文学講読Ⅰ・Ⅱ 英米文学演習Ⅰ 他
- ② 生年月 : 1991/2
- ③ 出身学校 : 慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学大学院文学研究科
- ④ 学位 : 修士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 日本英文学会 日本ミルトン協会 十七世紀英文学会
- ⑥ E-mail : y-matsumura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ ‘The Reprobate in Paradise Lost : Milton’s Satan and the Crisis of Conscience’ (慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻 『Colloquia』, 35 (2014), 105-114) ◇ 「『失樂園』における無常観—スペンサーとの比較を通して見る自由意思の重要性」、『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会)、112 (2017)、226-235 頁

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ジョン・ミルトンの『失樂園』を中心に、17世紀イギリスの文学を研究しています。樂園の表象や無常観を読み解くことで、宗教的にも政治的にも大きく変動した17世紀のイギリスを生きた人々のメンタリティーを明らかにしたいと考えています。

(Hiroto Murohashi)

講師

室橋 弘人

社会心理学演習Ⅰ・Ⅱ 社会心理学 心理学統計法Ⅰ 社



- ① 担当科目 : 会調査法 心理学実習(調査・実験) ビジネスと心理学 他
- ② 生年月 : 1978/12
- ③ 出身学校 : 早稲田大学
- ④ 学位 : 博士(文学)
- ⑤ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本行動計量学会 他
- ⑥ E-mail : murohashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ ”Trajectories of Early Television Contact in Japan: Relationship with Preschoolers’ Externalizing Problems.” (Journal of Children and Media 9(4), 2015 年) ◇ ”Model Specification Search Using a Genetic Algorithm with Factor Reordering for a Simple Structure Factor Analysis Model.” (Japanese Psychological Research 49(3), 2007 年) ◇ 「構造方程式モデリングによる一対比較法の分析—シェッフェの方法とその改良—」(心理学研究 75 (4), 2004 年) ◇ 「縦断データの分析Ⅰ—変化についてのマルチレベルモデリング—」(分担翻訳、朝倉書店、2012 年) ◇ 「新・発達心理学ハンドブック」(分担執筆、福村出版、2016 年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

青少年の発達に関する繰り返し測定データの分析、機械学習の心理学への応用

(Richard Grassi)

講師

Richard Grassi



English Communication I・II English Writing World

- ① 担当科目 : Culture through English I・II English Discussion I・II 他
- ② 生年月 : 1959/5
- ③ 出身学校 : Humanities University
- ④ 学位 : 人文学博士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : grassi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇English Language textbook- “Shift the Focus” “Felicity 2” “Felicity 1”
- ◇Humanities books- “Sketches of the Cotswolds” “A Scribbled Response”

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- “Let’s Eat Bugs” “Purpley-Pink House” (series of five children’s books)
- “Goobee Da Loon” (series of three children’s books) “The ART of Presentation: Japanese Teacher Training Workshop”, Kanazawa

(Atsushi Okuizumi)

講師

奥泉 敦司



- ① 担当科目 : 保育者論 保育インターンシップ
- ② 生年月 : 1985/6
- ③ 出身学校 : 埼玉大学、上越教育大学大学院
- ④ 学位 : 修士(教育学)
- 日本学校教育学会 教育哲学会 日本保育学会 日本教
- ⑤ 所属学会 : 師教育学会 日本乳幼児教育学会 日本保育者養成教育学会 上越教育経営研究会
- ⑥ E-mail : okuizumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇現職保育士・幼稚園教諭の研修に関する一考察(共著) ◇教員養成における教育哲学の有用性に関する調査研究—学生は何を求め、何を学ぶのか—(共著) ◇養育場面における幼児の反応と批判的思考に関する実証的研究—「ほめる・叱る」行為における養育者の態度の考察を通して—(単著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ◇保育者志望学生の教育観の形成過程に関する研究 ◇保育理論の思想史的変遷に関する研究
- ◇保育環境整備に関する政策変遷に関する研究

(Toyohiko Kohira)

講師

小平 豊彦



- ① 担当科目 : 初等教科教育法 (体育)
- ② 生 年 月 : 1953/9
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学
- ④ 学 位 : 東京学芸大学学士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : kohira@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「すぐに役立つ!! 体育指導資料集」◇「血中アミノ酸変化に及ぼす prolong exercise の影響について」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・小学校の学校現場ですぐに役立つ対応策など
- ・教育法規の観点
- ・身につけたい教員の常識 など

(Maki Nagumo)

講師

南雲 まき



- ① 担当科目 : 図画工作 他
- ② 生 年 月 : 1982/7
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学、東京学芸大学大学院
- ④ 学 位 : 修士 (教育学)
- ⑤ 所属学会 : 大学美術教育学会 美術科教育学会 国際幼児教育学会
- ⑥ E-mail : nagumo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇院内学級の実践から読み解く美術教育の意義と可能性 (『大学美術教育学会誌美術教育学研究 47』 大学美術教育学会) ◇美術における「個性化」教育についての考察 (『大学美術教育学会誌美術教育学研究 48』 大学美術教育学会) ◇ふれる・もつ・かんじるー展覧会実践からの考察 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第65集』 東京学芸大学学術情報委員会) ◇ふれる・もつ・かんじるⅡ: ワークショップという美術教育実践の可能性 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第67集』 東京学芸大学学術情報委員会) ◇造形美術教育科目のアクティブ・ラーニングについての考察 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第68集』 東京学芸大学学術情報委員会)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

美術を中心とする多様な表現教育

(Akiko Noritomi)

講師 **乗富 章子**



- ① 担当科目 : 音楽基礎 初等科教育法(音楽) 音楽演習(ピアノ講座)
- ② 生年月 : 1951/6
- ③ 出身学校 : 金沢大学教育学部初等教育学科
- ④ 学位 : 教育学士
- ⑤ 所属学会 : 日本音楽教育学会
- ⑥ E-mail : noritomi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇金沢大学附属小学校研究紀要執筆(1974~2013) 小学校音楽科、生活科、英語の教材開発、授業実践、授業分析、授業研究、おとづくり、音あそび、音楽づくりの実践等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・小学校教員養成課程における音楽科の授業のあり方
- ・時代の流れに対応する音楽授業構築の道筋
- ・幼小連携を視野に入れた低学年児童の指導のあり方
- ・音素材・歌唱表現の扱いを中心とした幼保側からの幼小連携への示唆
- ・教員・保育者養成課程における初心者ピアノ指導の実践

(Mari Muramatsu)

講師 **村松 麻里**



- 英語 I・II 英語コミュニケーション I・II 初等教科英
- ① 担当科目 : 語教育法 小学校英語 小学校英語教材研究 海外英語教材比較研究 子ども教育学基礎セミナー I・II 他
 - ② 生年月 : 1974/12
 - ③ 出身学校 : 早稲田大学第二文学部 立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科
 - ④ 学位 : 修士(異文化コミュニケーション学)
 - ⑤ 所属学会 : 小学校英語教育学会 日本児童英語教育学会 日本学校教育学会 他
 - ⑥ E-mail : m-muramatsu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英語教育における絵本の活用に関する考察—Real Books, Reading Schemes, ELT 絵本の比較分析を通して」『異文化コミュニケーション論集』第 8 号、pp. 57-72、2010 年 ◇「子ども達の声・つぶやきにみる物語の受容過程： 小学校 3 年生「読書」授業の談話分析を通して」「言語と人間」研究会(編)『ことばと人間』第 10 号、pp. 105-123、2015 年 ◇「小学校英語教育におけるホール・ランゲージ型の学びの可能性：新学習指導要領を踏まえて」共創対話学習研究所機関誌『未来を拓く教育実践学研究』第 1 号、pp. 83-92、2016 年 ◇「小学校の言語教育における読み物の活用に関する一考察—アメリカの公立小学校の母語教育を事例として」『未来を拓く教育実践学研究』第 4 号、pp. 48-59、2020 年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小学校英語教育

(Maki Yamaguchi)

講師

山口 真希



- ① 担当科目 : 教育方法・技術論 ICT 活用教育概論 情報モラル教育
デジタル教材開発 情報科学技術と学習支援 他
- ② 生 年 月 : 1975/10
- ③ 出身学校 : 金沢大学教育学部, 放送大学大学院
- ④ 学 位 : 修士 (学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本教育工学会 日本教育メディア学会 AI 時代の教育
学会 STEM 教育学会
- ⑥ E-mail : maki-y@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『小学校プログラミングの授業』(翔泳社 2018 年・共著) ◇『小学校プログラミング教育の研修ガイドブック』(翔泳社 2019 年・共著) ◇『タブレット端末を授業に活かす NHK for School 実践事例 62』(NHK 出版 2018 年・共著) ◇映像教材活用と CM 制作活動を通じたメディア・リテラシー学習プログラムの開発 (日本教育工学会論文誌 Suppl. 2016. 40) ◇SNS の交流で生じた現象を題材とするメディア・リテラシー教育の単元開発 (教育メディア研究第 24 巻第 1 号・共著) ◇特別活動における人間関係構築のための教師の取り組み(1) ミドルリーダー教師の学年初期の事例 (茨城大学教育実践研究 35・共著) ◇小学校 6 年生における SNS 上と対面でのコミュニケーションの比較 (日本教育メディア学会第 25 回年次大会発表集録) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・主体的・対話的で深い学びを実現する ICT 活用
- ・児童生徒の SNS 活用リテラシーに関する研究

(Kanao Edamoto)

助教

枝元 香菜子



- ① 担当科目 : 体育 I フレッシュマンセミナー 書道 (書写実習) 体
育実技
- ② 生 年 月 : 1991/3
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学教育学部、東京学芸大学大学院教育学研究科
保健体育専攻
- ④ 学 位 : 修士 (教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本体力医学会 日本学校教育学会 日本武道学会 日
本発育発達学会
- ⑥ E-mail : edamoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「日常生活下における身体活動の増加が閉経後女性の食後中性脂肪濃度に及ぼす影響」『体力科学』第 64 号 (共著, 日本体力医学会、2015 年) ◇「身体活動量を高め運動継続に繋げるための体育授業に関する一考察」『人と教育』第 11 号 (単著、目白大学教育研究所、2016 年) ◇「児童における足機能・形態と疼痛リスクおよび新体力テスト成績との関連性」『金沢学院大学紀要』第 18 号 (共著、金沢学院大学、2020 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

子どもの身体活動量の向上にむけた取り組み
教育実践効力感尺度の作成および学校インターンシップカリキュラム開発

(Masaki Takezawa)

助教

竹澤 賢樹



- ① 担当科目 : 子ども家庭福祉 家庭支援論 相談援助 社会的養護
スクールソーシャルワーク論
- ② 生 年 月 : 1969/11
- ③ 出身学校 : 福井県立大学大学院看護福祉学研究科
- ④ 学 位 : 修士 (社会福祉学)
- ⑤ 所属学会 : 日本学校ソーシャルワーク学会、日本学校教育学会
- ⑥ E-mail : m-takezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇スクールソーシャルワークの導入と基本的技術に関する一考察 (北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要 2009 年度第 2 号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・教育と福祉の関係性に関する研究
- ・子どもの権利に関する研究
- ・スクールソーシャルワークに関する研究

(Asuka Matushita)

助教

松下 明日香



- ① 担当科目 : 保育実習指導、保育実習 インターンシップ 他
- ② 生 年 月 : 1990/9
- ③ 出身学校 : 関西学院大学
- ④ 学 位 : 修士 (教育学) 鳴門教育大学
- ⑤ 所属学会 : 関西教育学会 保育学会
- ⑥ E-mail : matusita@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「幼児が発揮するコンピテンシーに関する研究—DeSeCo プロジェクトのキー・コンピテンシーを手がかりに—」『関西教育学会年報』第 40 号, pp. 71-75, 2017 年 ◇「自然環境の中で発揮される乳児のコンピテンシー」, 『未来を拓く教育実践学研究』共創型対話学習研究所第 3 号, pp. 74-83, 2018 年 ◇「乳児保育における自然環境に関する一考察—保育士へのインタビューを手がかりに—」, 『金沢学院大学教職センター紀要』第 2 号, pp. 76-92, 2018 年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

乳幼児が発揮する能力について
保育における環境の役割について

金沢学院大学 経済学部

学部長 高橋 啓

	教授	准教授	講師	助教
経済学科	井手 秀樹 奥井めぐみ ○高橋 啓 豊田 欣吾 根本 博 古谷 京一		加藤 里紗 平方 裕久	
経営学科	○大野 尚弘 佐藤 淳 田中 晴人 土屋 雅一	米澤 順一 渡邊 誠士	上野 学 林 文慧	

○：学科長

(五十音順)

(Hideki Ide)

教授

井手 秀樹

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 産業組織論 産業組織研究 他
- ② 生年月月 : 1949/11
- ③ 出身学校 : 神戸大学大学院博士課程単位取得退学
- ④ 学位 : 経営学修士
- ⑤ 所属学会 : 公益事業学会 日本経済政策学会 国際公共経済学会
日本経済学会
- ⑥ E-mail : ide@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「日本郵政—JAPAN POST」2015年 東京経済新報社
- ◇「次世代のエコカー『天然ガス自動車』—ポストフクシマの選択」2013年エネルギーフォーラム社
- ◇「郵政上場後の課題」2015年11月日本経済新聞社「経済教室」
- ◇「電力・ガスシステム改革と課題」石油学会『ペトロテック』2016年2月
- ◇「タクシー事業における規制緩和から再規制」『三田商学研究』2012年12月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 電力・ガス自由化 ② 競争政策と独占禁止法

(Megumi Okui)

教授

奥井 めぐみ

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : ミクロ経済学 労働経済学 現代経済論Ⅰ 経済学基礎
基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月月 : 1969/12
- ③ 出身学校 : 大阪大学大学院国際公共政策研究科(博士後期課程修了)
- ④ 学位 : 博士(国際公共政策)
- ⑤ 所属学会 : 日本経済学会 日本労務学会
- ⑥ E-mail : m-okui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『昇進と努力水準—独自データに基づく実証分析—』金沢学院大学紀要第16号, pp. 20-31, 2018, 単著。
- ◇『集計データからみる昇進のインセンティブ』金沢学院大学紀要第13号, 経営・経済・情報・自然科学編, pp. 33-43, 2017年, 単著。
- ◇『企業の男女均衡施策やWLB施策が業績に与える影響: 相対的な業績指標を利用して』学習院大学経済論集第53巻2号 pp. 43-66, 2016年, 共著。
- ◇『平均昇進スピードが女性の昇進に与える影響』、金沢学院大学紀要第12号、経営・経済・情報・自然科学編, pp. 37-45, 2015年, 共著。 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

インセンティブが労働者の努力水準に与える影響を調べる実証的研究

(Kingo Toyota)

教授

豊田 欣吾

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 現代経済論Ⅰ・Ⅱ 経済政策 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1960/6
- ③ 出身学校 : 横浜国立大学経済学部
- ④ 学位 : 学士(経済学)
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : toyoda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「経済成長と格差、科学技術イノベーション」『JST 研究開発戦略ローンチアウト(2018年5月)』◇「景気指標としてのGDP統計～その信頼性向上に向けて～」『景気とサイクル(2010年11月)』◇「経済財政運営と経済財政諮問会議－政策決定プロセスはどのように変化したか－」『月刊NIRA政策研究(2006年1月)』

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・日本経済の現状と課題
- ・経済格差とイノベーション
- ・SNA(国民経済計算)の整備・改善

(Hiroshi Nemoto)

教授

根本 博

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 財政論 経済変動論Ⅰ・Ⅱ 経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学の基礎 日本経済特論 財政学特論 他
- ② 生年月 : 1948/7
- ③ 出身学校 : 東京大学経済学部
- ④ 学位 : 経済学士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : nemoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- 著書 ①『人にやさしい経済学』(単著)2015年4月、北國新聞社
- ②『ボランティア経済と企業』(編著)2002年9月、日本評論社
- ③『平成3・4年地域経済レポート』(編著)1992年5月、経済企画庁
- 論文 ①「マクロ政策——その限界と新たな道の模索」2019年3月、大学紀要
- ②「北陸経済の歩み」(単著)2018年6月、北陸経済研究所
- ③「高度成長の評価」(共著)1975年7月、日本評論社

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本経済の現状と課題② 北陸経済の現状と課題③ 市場を補完するボランティア経済の役割

(Keiichi Furuya)

教授

古谷 京一

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : マクロ経済学 金融論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学 現代経済論Ⅰ
他
- ② 生年月 : 1966/12/
- ③ 出身学校 : 武蔵大学
- ④ 学位 : 修士(経済学)
- ⑤ 所属学会 : 日本経済学会 日本金融学会
- ⑥ E-mail : k-furuya@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「金融政策と内生的貨幣供給モデルー銀行貸出・現金・預金経済の場合ー」『武蔵大学論集』第45巻 第4号 1998年◇「デフレーションと経済モデル」『徳山大学論叢』第52号 1999年◇「貨幣需要と貨幣供給ーモデル分析の変遷ー」『徳山大学論叢』第60・61号◇「社会保障(介護・福祉・医療)の現状に関する考察ー経済データの視点からー」(共著)◇山口老年総合研究所『年報』第22号 2009年◇「マクロ経済学的視点から考察される不動産市場ー地域経済分析の出発点としての不動産市場分析ー」徳山大学総合研究所『紀要』第33号 2011年◇「人口減少と社会保障ー経済データの視点からー」徳山大学総合研究所『紀要』第34号 2012年◇「スキー市場に関する経済分析ー教職課程履修者のためのスポーツ市場に関する経済分析の例としてー」徳山大学総合経済研究所『紀要』第36号 2014年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

金融現象(バブル発生、デフレ経済など)と金融政策・金融理論

(Takahiro Oono)

教授

大野 尚弘

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論 流通論Ⅰ・Ⅱ
学修基礎Ⅲ・Ⅳ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1970/5
- ③ 出身学校 : 神戸大学大学院
- ④ 学位 : 修士(商学)
- ⑤ 所属学会 : 日本商業学会 日本消費者行動研究学会
- ⑥ E-mail : oono@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『PB戦略-その構造とダイナミクス』千倉書房◇「インターネット技術と新しい小売業態」『1からの流通論(第2版)』碩学社◇「北陸の医薬品産業の歩み」◇『データで見る北陸の50年』

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

流通企業のPB戦略について Eコマースの進展について

(Jun Sato)

教授

佐藤 淳

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 地域経済論 都市計画論Ⅰ 観光と地域創生Ⅱ 都市経営と経済Ⅱ 学修基礎Ⅰ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ他
- ② 生年月 : 1962/10
- ③ 出身学校 : 東北大学 日本大学大学院総合社会情報研究科
- ④ 学位 : 博士(総合社会文化)
- ⑤ 所属学会 : 地域デザイン学会 産業学会 経済地理学会 日本中小企業学会
- ⑥ E-mail : j-satou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

(共著) ◇『グローバルプレッシャー下の日本の産業集積』日本経済評論社, 2014 年 ◇『農林漁業の産地ブランド戦略: 地理的表示を活用した地域再生』ぎょうせい, 2015 年 ◇『地域創生のプレミアム戦略: 稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す』中央経済社, 2018 年 ◇『地域マーケティングのコンテキスト転換: “エピソードメイク”のための“コンステレーションマーケティング”』学文社, 2019 年 ◇『地方創生の地域経営: 全国 32 のケースに学ぶボトムアップ型地域づくり』金融財政事情研究会, 2020 年

(単著論文) ◇「日本酒と本格焼酎の再興戦略」地域デザイン学会誌『地域デザイン』12 号, 2018 年 ◇『國酒振興に関わる新たな成長戦略を求めて-地域経済活性化へのインプリケーション-』日本大学, 2020 年, 博士論文

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

地域産業の内発的発展、グローバル化

(Haruto Tanaka)

教授

田中 晴人

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ 経営管理論Ⅰ・Ⅱ 経営行動論 ビジネス戦略 演習Ⅰ・Ⅱ 就職講座
- ② 生年月 : 1953/4
- ③ 出身学校 : 金沢大学大学院
- ④ 学位 : 経済学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本経営学会 組織学会
- ⑥ E-mail : mtanaka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「ダイナミック・ケイパビリティとポジショニング・アプローチ」(『金沢学院大学紀要』第 18 号, 2020 年 3 月) ◇「チャンドラーの組織能力概念について」(金沢学院大学紀要第 16 号)
- ◇「経営資源の諸概念と『アクティブな経営能力』について」(金沢学院大学紀要第 10 号)
- ◇「資源ベース・アプローチの意義と問題点」(金沢学院大学紀要第 9 号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

経営戦略に関する研究

経営資源に関する理論研究

(Masakazu Tuchiya)

教授

土屋 雅一

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、税法基礎、租税法特論、租税法各論Ⅱ
税務会計特論、特論演習
- ② 生年月 : 1958/5
- ③ 出身学校 : 筑波大学第三学群情報学類
- ④ 学位 : 工学士
- ⑤ 所属学会 : 租税訴訟学会
- ⑥ E-mail : tuchiya@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ビットコインと税務 税大ジャーナル 23 号◇税とビットコイン 週刊金融財政事情 66(22)
◇マイナンバー及びマイポータルを利用した記入済申告制度の実現方法について◇税大ジャーナル 19 号

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

暗号資産（仮想通貨）と税務

マイナンバーと税務行政

電子インボイスと税務調査

(Junichi Yonezawa)

准教授

米澤 順一



- ① 担当科目 : 学修基礎Ⅲ・Ⅳ 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ 商業簿記Ⅰ・Ⅱ 工
業簿記Ⅰ・Ⅱ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1965/3
- ③ 出身学校 : 金沢大学経済学部 金沢学院大学大学院
- ④ 学位 : 修士（経営情報学）
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『ストック・オプション会計の問題点に関する一考察』金沢学院大学平成 18 年度修士論文◇
『わが国における退職給付会計の展開（1）』金沢学院大学紀要第 12 号（2014）◇『高等学校商業科における科目指導法について－簿記を題材に－』金沢学院大学紀要第 18 号（2020）◇『商業科における「原価計算」の指導方法について－総合原価計算を題材に－』金沢学院大学教職センター紀要第 3 号（2019）

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

簿記の教授法について

(Masashi Watanabe)

准教授

渡邊 誠士

経営情報学研究科(M・D)担当



- 学修基礎Ⅲ・Ⅳ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ 会計学基
礎Ⅰ・Ⅱ 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ 工業簿記Ⅰ・Ⅱ
- ① 担当科目 :
② 生 年 月 : 1980/6
③ 出身学校 : 京都大学大学院経済学研究科
④ 学 位 : 修士(経済学)
⑤ 所属学会 : 日本会計研究学会 会計理論学会 日本ディスクロージ
ャー研究学会 財務会計研究学会 公益事業学会
⑥ E-mail : w-masashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「ストック・オプション取引と会計主体ースtock・オプションの資産性に関する理論的考察」『会計理論学会年報』第29号, 2015年 ◇「ストック・オプションの会計処理と税務処理に関する一考察」『財務会計研究』第10号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の比較可能性に関する実証研究—株式報酬型ストック・オプション費用に対する市場評価への注記情報の利用—」『経済論叢』第190号第1巻, 2016年 ◇「ストック・オプション会計における対応概念の役割—対応概念の有用性の再検討—」『会計理論学会年報』第30号, 2016年 ◇「日本郵便の統合効果—財務諸表分析を通して—」『公益事業研究』第68巻第3号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の収益・費用対応への影響」『経済論叢』第191巻第3号, 2017年 ◇「日本郵政の株式上場と企業価値推定」『公益事業研究』第66巻, 第1号, 2014年(共著) ◇”The Stock Listing and Business Value Estimation of Japan Post Holdings” Korea International Accounting Review, 2014(共著) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ストック・オプション会計, 日本郵政グループ, 会計制度の比較制度分析

(Risa Kato)

講師

加藤 里紗



- 学修基礎 経済学概論 西洋経済史 国際経済 基礎演
習 演習
- ① 担当科目 :
② 生 年 月 : 1984/8
③ 出身学校 : 名古屋大学
④ 学 位 : 経済学(博士)
⑤ 所属学会 : 環境経済・政策学会 進化経済学会 アジア政経学会
⑥ E-mail : r-katou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇加藤里紗「韓国における『低炭素緑色成長』—エコロジー的近代化論の観点から—」、『経済科学』、第62巻第1号、pp. 85-99、2014年◇加藤里紗、「エコロジー的近代化論の発展と多様性」、『経済科学』、第65巻第3号、pp. 31-44、2018年◇加藤里紗「環境・経済・福祉の統合に向けて: エコロジー的近代化からエネルギー貧困まで」、『経済科学』、第67巻3号、pp. 29-39、2020年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・環境親和的な社会経済発展戦略
- ・エコロジー的近代化論
- ・エネルギー福祉

(Yasuhisa Hirakata)

講師

平方 裕久

- ① 担当科目 : 学修基礎 I a・I b キャリアデザイン I
- ② 生 年 月 : 1981/5
- ③ 出身学校 : 九州大学
- ④ 学 位 : 博士 (経済学)
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : hirakata@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本における風水害保険の展開とその思想的基盤など

(Gaku Ueno)

講師

上野 学



- ① 担当科目 : 会計学基礎 I・II 経営学基礎 I・II 経営管理論 I・II
キャリアデザイン I キャリアプランニング I・II FSP
講座 学修基礎 I 基礎演習 I・II 演習 I・II
- ② 生 年 月 : 1984/9
- ③ 出身学校 : 東北大学
- ④ 学 位 : 博士 (経営学)
- ⑤ 所属学会 : 日本会計研究学会 日本監査研究学会 日本内部統制研
究学会 米国会計学会
- ⑥ E-mail : ueno@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Gaku Ueno (2018) "The Causal Relationship between Auditor Turnover and Audit Fees—Evidence in Japan", Discussion Paper No.135 TOHOKU MANAGEMENT & ACCOUNTING RESEARCH GROUP

◇Gaku Ueno (2019) "Identifying the Determinants of Audit Fees, in A Post J-SOX Scenario" Discussion Paper No.132 TOHOKU MANAGEMENT & ACCOUNTING RESEARCH GROUP 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

監査報酬の決定要因分析 実験的手法を基にした実証監査研究 内部統制報告制度と監査品質の関係性

(Fumie Hayashi)

講師 **林 文慧**



- ① 担当科目 : 中国語Ⅰ・Ⅱ 経営情報特講Ⅰ
- ② 生 年 月 : 1957/11
- ③ 出身学校 : 富山大学大学院
- ④ 学 位 : 修士(経済学)
- ⑤ 所属学会 : 中国語教育学会 Jjapana Esperanto-Instituto
- ⑥ E-mail : melin@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇農と緑化を通じた日中コミュニケーション――微細な糸を結ぶ 2019 農業および園芸 94 巻 10
◇稲作・緑化と健康維持力 2019 農業および園芸 94 巻 6 号◇「爆買い」から習う中国語語彙の
構成 ―日本語表現との比較 第16号2018金沢学院大学紀要 基礎大紀要 ◇自然会話における
“不会吧”の機能表現について第 15 号 2017 金沢学院大学紀要◇Miskompreno inter ambaux
popoloj cxina kaj japana----kauzita de kulturo kaj vivkutimo 第13号2015金沢学院大
学紀要 ◇やさしい中国語基礎編 2014 好文社 ◇中国語「句」の学習―日本語と英語と対照に 第
12 号 2014 金沢学院大学紀要 ◇三言両語 循序漸進 2013 好文社◇中国語の基本文型の学習―
中国語・日本語・英語との比較を導入した指導法 第11号2013金沢学院大学紀要 ◇「ma」
のない中国語疑問文の学習―英語の Wh-Questions と対照しながら 第10号2012金沢学院大学
紀要 ◇中国語の修飾について(―日本語のとの比較) 第35号2010 金城短大紀要 ◇茶文化
の道へ(―喫茶普及における中国と日本の比較) ◇中国の「高考経済」について(―現代中国にお
ける教育改革の実態)第30号2006第34号2009 ◇「XX 経済」という言葉のバブル現象第29
号2005 金城短大紀要 ◇中国の企業グループ(―その形成と育成策について)1992 富山大学大
学院経済論文集 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学における中国語教育とその方法論、中国語と日本語との比較

金沢学院大学 経済情報学部

学部長 桑野 裕昭

	教授	准教授	講師	助教
経営情報学科	石川 温 岡田 政則 ○桑野 裕昭 佐々木圭一 馬場先恵子 松井 良雄	小里 千寿 ポータム・ビスヌ・ブラサド ザニエケフ マラット 藤本 祥二	小形 優人 後藤 弘光 野田 祐輔	

○：学科長

(五十音順)

(Atushi Ishikawa)

教授

石川 温

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ活用演習 情報処理演習 経営情報活用演習Ⅰ・Ⅱ 情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ ほか
② 生年月 : 1965/3
③ 出身学校 : 大阪大学大学院
④ 学位 : 博士(理学)
⑤ 所属学会 : 日本物理学会
⑥ E-mail : ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇マクロ経済学における規模の収穫一致の拡張 -Extended constant returns to scale in macroeconomics-, 第18回社会システム部会研究会(SICE) 19PG0002 (2019) 160 - 164◇
Statistical Law observed in Inactive Rate of Firms, Evolutionary and Institutional Economics Review (2018) DOI 10.1007/s40844-018-0119-4. ◇Comparison between Spatial Distributions of Tweet Base and Population in Japan, 2017 IEEE International Conference on Big Data (2017) 3052 - 3057, DOI: 10.1109/BigData.2017.8258277. ◇Transition Law of Firms' Activity and the Deficit Aspect of Non-Gibrat's law, JPS Conference Proceedings, Vol 16 (2017) 011005, 10.7566/JPSCP.16.011005. ◇Dependence of the decay rate of firm activities on firm age, Evolutionary and Institutional Economics Review (2017) DOI 10.1007/s40844-017-0084-3

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 経済物理学、社会物理学、情報学

(Masanori Okada)

教授

岡田 政則

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ ウェブ活用演習Ⅰ・Ⅱ
② 生年月 : 1957/11
③ 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学
④ 学位 : 博士(情報科学)
⑤ 所属学会 : 日本創造学会
⑥ E-mail : okada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Emergence of Awareness During Fieldwork, 2019/11, The 14th International Conference on KICSS◇Collecting Awareness During Fieldwork, 2019/9, The 41st Annual Conference of JCS◇73ミニ移動大学における気づきコミュニケーションの創発性, 2018/11, グループウェアとネットワークサービスワークショップ2018

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 気づきの科学

(Hiroaki Kuwano)

教授

桑野 裕昭

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : プログラミングⅡ 経営統計Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 就職基礎講座 就職対策講座 他
- ② 生年月 : 1967/4
- ③ 出身学校 : 金沢大学大学院自然科学研究科
- ④ 学位 : 博士(工学)
- ⑤ 所属学会 : 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本数学会 日本知能情報ファジィ学会
- ⑥ E-mail : kuwano@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ファジィ・プロジェクト・リスク管理モデル, 「不確実性の下での意思決定の数理とその周辺」RIMS 講究録 2126, 93-98, 2019 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策効果尺度に関する一考察, 「不確実性の下での意思決定理論とその応用: 計画数学の展開」RIMS 講究録 2078, 222-228, 2018 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおける対策すべきリスクの選択について, 「確率的環境下における数理モデルの理論と応用」RIMS 講究録 2044, 171-181, 2017 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策の数理モデル化, 「不確実・不確定性の下での数理意思決定モデルとその周辺」RIMS 講究録 1990, 230-237, 2016 ◇ファジィ集合値写像の導写像について, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 209-214, 2015 ◇プロジェクト・リスクにおける汎用的フレームワークについて, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 162-171, 2015

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①人間の曖昧な認識に基づく情報環境での意思決定 ②意思決定にかかわる諸問題のモデル化とその分析 ③プロジェクト・リスク・マネジメントの数理的解析

(Keiichi Sasaki)

教授

佐々木 圭一



- ① 担当科目 : 自然科学概論Ⅰ・Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ・Ⅱ 学修基礎Ⅲ・Ⅳ 他
- ② 生年月 : 1970/12
- ③ 出身学校 : 金沢大学
- ④ 学位 : 博士(理学) [金沢大学]
- ⑤ 所属学会 : 日本地質学会 日本第四紀学会 日本サンゴ礁学会 他
- ⑥ E-mail : sasak1@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面から復元する約 62~52 ka の海水準変動(2013) 共著 地質学雑誌 v. 119, p. 155-170

◇²³⁰Th/²³⁴U and ¹⁴C dating of a lowstand coral reef beneath the insular shelf off Irabu Island, Ryukyus, southwestern Japan(2006) 共著 Island Arc v. 15, p. 455-467

◇Interstadial coral reef terraces and relative sea-level changes during the marine isotope stages 3-4 at Kikai Island, central Ryukyus, Japan. (2004) 共著 Quat. Int., v. 120, p. 51-64

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①南西諸島喜界島における完新世サンゴ礁段丘の形成過程 ②琉球列島のサンゴ礁堆積物からみた後期更新世以降の海水準変動 ③放射性同位体を用いた物質循環に関する研究

(Keiko Babasaki)

教授

馬場先 恵子

人文学研究科担当



- 学修基礎 a・b キャリアデザインⅡ・Ⅲ 近代史演習
① 担当科目 : I・II 地誌 プレ卒業研究演習 卒業研究 他
② 生年月 : 1958/1
③ 出身学校 : 大阪大学
④ 学位 : 博士(学術)(金沢大学)
⑤ 所属学会 : 土木学会 日本都市計画学会
⑥ E-mail : babasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇景観計画における地形に基づく高さ規制の考え方ー金沢重要文化的景観地域の景観誘導◇金澤町家◇万葉集から読み取る越中の景観特性◇金沢城下における町人の外出行動の空間特性◇金沢市における橋からみた惣構堀・用水の規模と変遷 ◇歴史的遺産を有する地域の保存と整備に関する調査研究 ◇歴史的町並み景観における建物正面意匠の連続性 ◇『石川県災異誌』を用いた近世期における災害に関する研究

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・風土・歴史的文脈を背景とした都市環境整備方策の検討
- ・文化遺産の保存と活用施策の検討
- ・住民参加のまちづくり推進のための社会システムの構築

(Yoshio Matsui)

教授

松井 良雄



- コンピュータ活用演習 情報処理演習 ビジネスソフ
① 担当科目 : ト基礎・応用 情報処理Ⅰ・Ⅱ プログラミング基礎・
応用演習 就業力実践 地域プロジェクト 他
② 生年月 : 1958/11
③ 出身学校 : 金沢大学大学院工学研究科機械工学専攻
④ 学位 : 博士(工学)
⑤ 所属学会 : 日本機械学会 ターボ機械協会 日本生物環境工学会
⑥ E-mail : matsui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇SPA 型植物工場に向けた植物生理活性の非接触計測の試み, 日本生物環境工学会 2019 年千葉大会, 2019-9. ◇学生に返却する課題シートに教員からのコメントを記入した場合の教育的効果について(第3報), 金沢学院短期大学紀要, 第17号, 2019-2, p. 41-50. ◇白マイタケの近紫外・可視光域の生体電位の波長依存特性と形態形成特性, 日本生物環境工学会 2017 年松山大会, 2017-9. ◇学生による授業アンケートの実施と分析, 金沢学院短期大学紀要, 第14号, 2016-3, p. 1-15.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇LED 光源を活用した茸類の栽培効率改善に関する研究 ◇短期大学生の情報処理能力向上を目指した教育方法の検討 ◇シャトルカードを活用した教育指導と勉学意欲の向上について ◇科学の話題や数学・理科の基礎教育における授業活性化の取り組み

(Chizu Kosato)

准教授

小里 千寿



- ① 担当科目 : キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップ キャリアプランニング FSP講座 他
- ② 生年月 : 1963/1
- ③ 出身学校 : 法政大学大学院社会科学研究科経営学専攻
- ④ 学位 : 経営学修士
- ⑤ 所属学会 : キャリアデザイン学会、労務学会、日本産業経済学会、キャリア教育学会、日本産業教育学会 他
- ⑥ E-mail : kosato@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書・インターンシップで始める就『勝』本、日本法令(論文) ◇サービス業に従事する派遣労働者の技能形成 - 婚礼司会者の事例 - (単著) (芝浦工業大学研究報告 VOL. 47 (人文系編 ISSN0386-3107) (P. 109~P. 114)) ◇技能伝承の短期化に向けた実態調査 (共著) (拓殖大学国際開発学研究 VOL. 13 NO. 1 (P. 79~P. 103)) ◇THE EFFECTIVENESS OF SUPPORT SYSTEMS IN MANUFACTURING (製造業における技能伝承サポートシステムの有効性) (共著) (7th SETUC SYMPOSIUM, INDONESIA, South East Asian Technical Universities Consortium) ◇文系大学生を対象とした1・2年生向けプログラムー産学連携によるプレインターンシップの事例紹介ー (共著) (産業経済研究 第17号 (P. 3~P. 16)) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

キャリアデザイン、キャリア発達、技能形成、労働者の意識、人材開発(HRD)、人的資源管理(HRM)など。職業選択の要因となるもの、適性とは、また、職業によって人はどのように変化・発達していくのか等、労働に関する調査・研究をしています。

(Gautam Bishnu Prasad)

准教授

ゴータム・ビスヌ・プラサド



- ① 担当科目 : プログラミング基礎(A・B) プログラミングⅠ(A・B) 暗号とセキュリティ コンピュータ基礎演習Ⅰ(A・B) 他
- ② 生年月 : 1972/6
- ③ 出身学校 : 信州大学大学院総合工学研究科
- ④ 学位 : 博士(工学)
- ⑤ 所属学会 : IPSJ 情報処理学会, IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 他
- ⑥ E-mail : gautam@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Building a Reliable and Cost-Effective RTK-GNSS Infrastructure for Precise Positioning of IoT Applications, 2019 Twelfth International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Network (ICMU), Kathmandu, Nepal, 2019, pp. 1-4 ◇Monitoring of E-Learning System Servers Using the MariaDB Galera Cluster, 2019 International Conference on Networking and Network Applications (NaNA), Daegu, Korea (South), 2019, pp. 296-301 ◇Authentic Gate Entry System (AuthGES) by Using LBPH for Smart Home Security, 2018 International Conference on Networking and Network Applications (NaNA), Xi'an, China, 2018, pp. 191-196. doi: 10.1109/NANA.2018.8648705 ◇Enhancement of Supermarket Business and Market Plan by Using Hierarchical Clustering and Association Mining Technique, 2018 International Conference on Networking and Network Applications (NaNA), Xi'an, China, 2018, pp. 384-389, doi: 10.1109/NANA.2018.8648716 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

SDN ネットワークのセキュリティ強化に関する研究 パケットフィルタリングと DPI (Deep Packet Inspection) パケットの監視, 古代農具の IoT 化, 耐災害ネットワークの構築, ネットワークの監視及び管理など

(Zhanikeev Marat)

准教授

ザニケエフ・マラット



演習Ⅰ 演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コンピュー

① 担当科目 : タ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ 情報技術基礎Ⅰ 情報技術基礎Ⅱ 就職基礎講座

② 生年月月 1976/9

③ 出身学校 : 早稲田大学

④ 学 位 : 博士 (国際情報通信学)

⑤ 所属学会 : IEEE, 電子情報通信学会 (IEICE)、日本情報処理学会 (IPSJ)

⑥ E-mail : maratishe@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇ M. Zhanikeev, "The Last Man Standing Technique for Proof-of-Location in IoT Infrastructures at Network Edge", Wireless Communications and Mobile Computing, article no. 7317019, 12 pages, June 2019. (IF:0.9) ◇ M. Zhanikeev, "Penalty Migration as a Performance Signaling Method in Energy-Efficient Clouds", Annals of Telecommunications, vol. 72, p. 1-13, May 2017. (IF:0.722)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

クラウド (仮想化とも呼ばれることがある) の技術が普及しているなか、クラウド上で起動しているアプリケーションの動作を効率化する話題を中心に研究を進めている。動作環境として、データセンターの環境のほかに、顧客の近くにある環境 (ネットエッジという)、例えばスマートフォン上で起動するとき、どちらにしても効率化の対象になっている。そのスコープの中でいくつかの特定課題に対して研究を進めている。

(Syuji Fujimoto)

准教授

藤本 祥二

経営情報学研究科 (M) 担当



プログラミング基礎, プログラミングⅠ 学修基礎Ⅲ

① 担当科目 : 経営情報活用演習Ⅰ・Ⅱ コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習Ⅰ・Ⅱ

② 生年月月 : 1973/12

③ 出身学校 : 金沢大学大学院 自然科学研究科

④ 学 位 : 博士 (理学)

⑤ 所属学会 : 日本物理学会

⑥ E-mail : fujimoto@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇ Comparison between Spatial Distributions of Tweet Base and Population in Japan 2017 IEEE International Conference on Big Data (Big Data) 3052-3057 ◇ Transition Law of Firms' Activity and the Deficit Aspect of Non-Gibrat's law JPS Conference Proceedings 16 011005 ◇ Relationship between population density and population movement in inhabitable lands Evolutionary and Institutional Economics Review 14(1) 117-130 ◇ Firm Growth Function and Extended-Gibrat's Property Advances in Mathematical Physics 2016 9303480

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

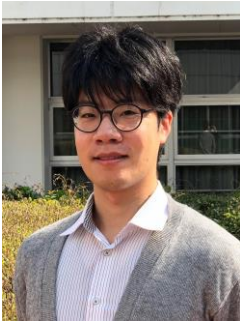
経済物理学、データサイエンス

人口動態、企業データ、地域経済指標、SNS ユーザ集団、等のビッグデータを用いた分析

(Yuto Ogata)

講師

小形 優人



一般数学 経済数学 コンピュータ基礎演習 経営情報

- ① 担当科目 : 活用演習Ⅲ データベース論Ⅰ 学修基礎Ⅰ 基礎演習
他
- ② 生年月 : 1992/1
- ③ 出身学校 : 新潟大学, 新潟大学大学院自然科学研究科
- ④ 学位 : 博士(理学)
- ⑤ 所属学会 : 日本OR学会 日本数学会
- ⑥ E-mail : y-ogata@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Sublinear scalarization methods for sets with respect to set-relations, Linear and Nonlinear Anal. 3 (2017), 121-132. ◇Computational methods for set relation-based scalarizing functions, Nihonkai Math. J. 28 (2017), 139-149. ◇An alternative theorem for set-valued maps via set relations and its application to robustness of feasible sets, Optimization 67 (2018), 1067-1075. ◇A calculation approach to scalarization for polyhedral sets by means of set relations, Taiwanese J. Math. 23 (2019), 255-267. ◇Sublinear-like Scalarization Scheme for Sets and its Applications to Set-valued Inequalities, Variational Analysis and Set Optimization: Developments and Applications in Decision Making, 72-91, CRC Press, Boca Raton, FL, 2019.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

集合最適化における集合値不等式の研究 多目的最適化のロバスト性に関する研究

(Hiromitsu Goto)

講師

後藤 弘光



統計基礎 経営統計Ⅰ 情報科学Ⅰ・Ⅱ コンピュータ基

- ① 担当科目 : 礎演習Ⅰ・Ⅱ 自然科学概論
- ② 生年月 : 1991/1
- ③ 出身学校 : 金沢大学
- ④ 学位 : 博士(理学)
- ⑤ 所属学会 : 日本物理学会
- ⑥ E-mail : goto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇官民協働海外留学創出プロジェクト(トビタテ)における友人関係ネットワークの成長とコミュニティ構造の可視化研究, 独立行政法人日本学生支援機構 令和元年度学生支援の推進に資する調査研究事業(JASSO リサーチ) ◇Practicality evaluation of stochastic model on networks for the real economy simulation. J Comput Soc Sc 2, 25-32 (2019). ◇ネットワーク上の確率モデルはミクロとマクロを同時に再現できるのか?, JWEIN2018 予稿集 ◇Gravitational Waves from Hidden QCD Phase Transition, Physical Review D 96 (2017) no. 7, 075045 ◇Nambu-Goldstone Dark Matter in a Scale Invariant Bright Hidden Sector, Physical Review D 91 (2015) no. 11, 115007

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・グローバル経済網におけるイノベーション創出に関する研究
- ・外生的ショックに対する大規模経済ネットワークの応答力学の解明
- ・オンラインコミュニティを活用した学習支援システムの開発研究

(Yusuke Noda)

講師

野田 祐輔



学修基礎 I a・b キャリアデザイン I プログラミング基

- ① 担当科目 : 礎 a・b プログラミング a・b コンピュータ基礎演習 I
a・b・II a・b 情報マネジメント基礎 I 基礎演習 I・II
- ② 生 年 月 : 1988/1
- ③ 出身学校 : 横浜国立大学 大学院工学府 物理情報工学専攻
- ④ 学 位 : 博士 (工学)
- ⑤ 所属学会 : 日本物理学会、応用物理学会、日本金属学会、ナノ学会、
DV-X α 研究協会
- ⑥ E-mail : y-noda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇[原著論文] Descriptors for Dielectric Constants of Perovskite-Type Oxides by Materials Informatics with First-Principles Density Functional Theory, Sci. Technol. Adv. Mater. 21, 92-99 (2020). ◇[原著論文] Neural-Network Interatomic Potential for Grain Boundary Structures and Their Energetics in Silicon, Phys. Rev. Mater. 4, 014605 (2020). ◇[部分執筆] 情報科学と電子状態計算の組合せで蓄電池用固体電解質の物性を評価する (23 の先端事例がつなぐ 計算科学のフロンティア 計算で物事を理解する予測する)、近代科学社、2020 年 ◇[原著論文] Research Update: Ca Doping Effect on the Li-Ion Conductivity in NASICON-Type Solid Electrolyte LiZr₂(PO₄)₃: A First-Principles Molecular Dynamics Study, APL Mater. 6, 060702 (2018). ◇[部分執筆] データ科学と第一原理計算を活用した蓄電池用固体電解質の物性評価 (マテリアルズ・インフォマティクス ～データ科学と計算・実験の融合による材料開発～)、情報機構、2018 年. ◇[原著論文] A General Representation Scheme for Crystalline Solids Based on Voronoi-Tessellation Real Feature Values and Atomic Property Data, Sci. Technol. Adv. Mater. 19, 231-242 (2018). ◇[原著論文] Computational and Experimental Investigations of the Electrochemical Stability and Li-Ion Conduction Mechanism of LiZr₂(PO₄)₃, Chem. Mater. 29, 8983-8991 (2017).

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

多変量データにおける重要記述子の抽出 機械学習を活用した組み合わせ最適化アルゴリズムの開発

金沢学院大学 芸術学部

学部長 飯田 栄治

	教授	准教授	講師	助教
芸術学科	荒川 昭広 飯田 栄治 ○市島 桜魚 西田 伸一 丹羽 俊夫 平木 孝志 柳橋 広司	越田 久文 児島新太郎 羽場 文彦 広根 礼子 吉田 一誠	加藤 謙一 村谷 聡志	

○：学科長

(五十音順)

(Akihiro Arakawa)

教授 **荒川 昭広**



芸術表現基礎 キャリアデザインⅠ デザイン概論Ⅰ・Ⅱ

- ① 担当科目 : CG 実習 b 美術科教育法Ⅱ ビジュアルデザイン デザイン演習Ⅱ ウェブ活用演習Ⅱ
- ② 生 年 月 : 1964/3
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ④ 学 位 : 芸術学士
- ⑤ 所属学会 : 日本デザイン学会 大学美術教育学会
- ⑥ E-mail : arakawa@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇デザイン教育におけるアクティブラーニングの実践
- ◇美術とメディアデザインを融合した授業の導入計画
- ◇美術とメディアデザインを融合した複合的な学び
- ◇デジタルイラストレーションによる絵画的表現「リアル背景画～写真から絵画へ」
- ◇中高美術科教育における表現テーマの考察～現代美術作品の模倣による制作指導～

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

問題解決につなげるデザイン思考

(Eiji Iida)

教授 **飯田 栄治**



学修基礎Ⅰ・Ⅱ 地域課題研究 メディア基礎 ソフトウ

- ① 担当科目 : エア基礎論 a・b 工学デザイン 卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ
CG 活用演習 ゲームデザイン 他
- ② 生 年 月 : 1960/9
- ③ 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
- ④ 学 位 : 情報科学博士
- ⑤ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 人工知能学会
日本シミュレーション学会
- ⑥ E-mail : e-iida@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇“人間の持つ解決戦略を利用した問題解決システム” 情報処理学会、第6回数理モデルと問題解決のシンポジウム論文集 2000.3 ◇“N2-1 パズルのスケールダウン解法” 電子情報通信学会和文論文誌 1998.7 ◇“A system to Perform Human Problem Solving” The 5th International Conference on Soft Computing and Information / Intelligence Systems, 1998.10 ◇メッセージプロジェクション システム 出展 愛知万博 2005.5 ◇“メッセージプロジェクション装置の制作とその効果について” エンタテインメントコンピューティング 2005.9 ◇金沢城辰巳櫓 3DCG 制作(2007、石川県、北國総研) 金沢市内小学校 DVD 配布 ◇“電子掛け軸” エンタテインメントコンピューティング 2008.9 (金沢 21 世紀美術館) ◇“「かげおくり」システム デモ エンタテインメントコンピューティング” 2009.9 (東京大学) ◇“快適で美しいまちづくり推進の金沢らしい表示物に関する研究” 2013.3 (金沢市) ◇“石川県の伝統文化の魅力海外発信プロジェクト” 2016.3(石川県)他

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①デジタルアート及びバーチャルリアリティシステムの研究 ②地域魅力発見発信研究(地域学)

(Ougyo Ichishima)

教授 **市島 桜魚**



工芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 絵画工芸基礎 工芸表現法 卒業研究

- ① 担当科目 : 金沢まち学特講 就職基礎講座 就職対策講座 卒業制作 研究Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1958/11
- ③ 出身学校 : 石川県立金沢二水高等学校
- ④ 学 位 :
- ⑤ 所属学会 : (公社)日本工芸会 日本文化財漆協会 石川県美術文化協会
- ⑥ E-mail : ougyo@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇1990 第37回日本伝統工芸展 優秀賞(NHK会長賞)蒔絵「秋の野」小簞笥 ◇1992 第39回日本伝統工芸展 優秀賞(朝日新聞社賞)平文「星螢」重ね箱 ◇1993 第10回日本伝統漆芸展 蒔絵「盛秋」八角箱 紀文美術館買上げ、ステッセルのピアノ復元における蒔絵制作 ◇1994 第50回石川県現代美術展 最高賞(技術賞)および50周年記念美術文化大賞 蒔絵「渦波」箱 ◇1995 第12回日本伝統漆芸展 蒔絵「宙」箱 宮内庁買上げ ◇1996 第13回日本伝統漆芸展 蒔絵「閃光」八角箱 国際国流基金買上げ ◇1998 第54回石川県現代美術展 委嘱賞 蒔絵「円」色紙箱 金沢市買上げ ◇1999 名古屋、'01 '06 '10 東京、'08 金沢にて個展

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①「平文」および「引っかき」の技法による表現の可能性 ②「漆芸・漆器、漆を塗る」がアイコン「japan」であることの意味 ③「KOGEI」としての認識と発信の在り方について

(Shinichi Nishida)

教授 **西田 伸一**



- ① 担当科目 : 芸術表現基礎/絵画表現基礎/絵画実習 他
- ② 生年月 : 1950/8
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ④ 学 位 : 芸術学士
- ⑤ 所属学会 : 光風会会員・理事 日展会員 日本美術家連盟会員
- ⑥ E-mail : nishida@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇1990 光風会展光風奨励賞「刻・SARA」 ◇1992 日展初入選「刻・N氏の家族」
◇1993 光風会展光風奨励賞「刻・1993の肖像」 ◇1998 光風会展会友賞「刻・遠い風」
◇2001 光風会展会員賞「刻・刻・刻」 ◇2003 日展特選「刻・遠いみち」
◇2004 光風会展会員賞「刻・遠い季節」 ◇2005 光風会展会員賞「白い刻・Ⅰ」
◇2007 日展特選「思秋」 ◇2012 現代美術展委嘱賞「爽」
◇2012 光風会展文部科学大臣賞「風の季節に」

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

油彩・アクリルによる人物を通しての写実絵画

(Toshio Niwa)

教授 **丹羽 俊夫**



- ① 担当科目 : 絵画表現法Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1948/3
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ④ 学位 : 芸術学士
- ⑤ 所属学会 : 一般社団法人新日本美術院代表理事 新院展名誉会長
日創会会長
- ⑥ E-mail : niwa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇1982 外務大臣賞(第18回亜細亜現代美術展) ◇1984 石川県能楽文化会館別館能舞台鏡板絵制作 ◇「昭和58年度芸術文化に活躍された人々の懇談のつどい」内閣総理大臣主催園遊会招待 ◇1985 安田火災美術財団奨励賞 ◇1987 国際芸術文化賞(日本文化振興会) ◇1989 文部大臣奨励賞(第25回亜細亜現代展) ◇1997 新日本美術院作家大賞(第29回神院展) ◇1998 石川県松任市(現白山市)新庁舎壁画制作 ◇2005 北國新聞社赤羽ホール「金沢大観図屏風」六曲一双制作 ◇2009 第63回北國文化賞 ◇2010 文部科学大臣教育功労賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 日本絵画思想の表現と技法 ② 日本美術文化思想の技と美

(Takashi Hiraki)

教授 **平木 孝志**



- ① 担当科目 : 日本美術特論 東洋美術特論 絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 金沢
まち学特講 石川の食
- ② 生年月 : 1951/4
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ④ 学位 : 芸術学修士
- ⑤ 所属学会 : 美術史学会 儀禮文化学会 茶の湯文化学会 公益法人
日展 新日春会
- ⑥ E-mail : t-hiraki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇日展特選(2005・1010)、日展審査員(2018) ◇源氏物語香図五十四帖制作 ◇長瀬神社天井画90面・絵馬制作(新潟県加茂市) ◇本因寺天井画40面・龍図、襖絵制作(金沢市寺町)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

金沢の伝統文化 茶道と美術工芸 現代日本画の表現

(Hiroshi Yanagibashi)

教授

柳橋 広司



- ① 担当科目 : 絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 絵画表現法Ⅲ・Ⅳ
卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1958/3
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学美術工芸学部日本画専攻
- ④ 学 位 : 学士(芸術)
- ⑤ 所属学会 : (社)日展 石川県美術文化協会 石川県日本画会 京都
日本画家協会
- ⑥ E-mail : yanagibashi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇第60回現代美術展 題名「ダチョウ」 美術文化特別賞 最高賞
- ◇第67回現代美術展 題名「羽ばたく」 美術文化優秀賞 委嘱賞
- ◇改組新 第3回日展 題名「匠」 特選

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他
現代日本絵画の制作

(Hisafumi Koshida)

准教授

越田 久文



- 芸術表現基礎 メディアデザイン論 映像基礎 ウェブ
- ① 担当科目 : 応用演習Ⅰ・Ⅱ/映像論/アニメーション演習Ⅱ(2DCG)/CM
制作/卒業制作 研究Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1964/8
- ③ 出身学校 : 北九州市立大学 中退 専攻:メディア学
- ④ 学 位 :
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : koshida@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇卒業研究主要テーマ:ブロードキャスト(放送)とインターネットの補完性
- ◇視聴者参加番組のリアルタイム投票・集計システム設計
- ◇ECサイト「金沢屋」設計・開発

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他
地上デジタル放送時代における、ネットと放送の融合

(Shintaro Kojima)

准教授

児島 新太郎



- ① 担当科目 : 美術概論 近現代美術史 絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 絵画表現
法Ⅲ・Ⅳ 卒業制作 研究Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1973/2
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科絵画専攻
- ④ 学位 : 修士(芸術)
- ⑤ 所属学会 : 一般社団法人光風会
- ⑥ E-mail : s-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇2012年 第44回日展 特選受賞
- ◇2013年 都美セレクション 新鋭美術家2013選抜(東京都美術館)
- ◇2014年 改組新第1回日展 特選受賞
- ◇2015年 第101回光風会展 文部科学大臣賞
- ◇2018年 平成30年度 石川県文化奨励賞

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

画面上に現実と虚構を描くことで実体のない意志の实在を示す制作、更には画面そのものが祈りの形となることを求めて研究活動をしています。

(Fumihiko Haba)

准教授

羽場 文彦



- 芸術表現基礎 a・b 工芸表現法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、Ⅳ、絵画工
芸基礎 工芸実習 工芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 近現代美術
① 担当科目 : 史、卒業制作・研究 美術科教育法Ⅰ 基礎造形論Ⅱ 美術材料学
- ② 生年月 : 1971/6
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ④ 学位 : 芸術学修士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : fumihaba@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇2005、6年(東京・銀座・フタバ画廊)
- ◇2009、10、11、12、14、15、17、18年(東京・神宮前・トキアートスペース)
- ◇2011年(東京・銀座・ギャラリーSOL)
- ◇2013年(東京・京橋・LIXILギャラリー ガレリアセラミカ) 等

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①土のもつ可能性を引き出した造形制作 ②量産技法を使用した作品の展開
- ③ギャラリー等での作品発表 ④教育素材の研究と授業での活用

(Ayako Hirone)

准教授

広根 礼子



芸術表現基礎 学修基礎Ⅳ デザイン基礎 色彩学 複

- ① 担当科目 : 合表現演習Ⅰ 視覚伝達論 デザイン演習Ⅰ・Ⅲ 卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1967/9
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学 産業美術学部 商業デザイン科
- ④ 学位 : 芸術学士
- ⑤ 所属学会 : アートミーツケア学会 金沢アートディレクターズクラブ
- ⑥ E-mail : hirone@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「いしかわのようもう」商品開発－ヒツジを活用した地域振興の取り組み－、金沢学院大学紀要、第18号、246-251、2020 ◇ゼミ活動におけるまちなかアート創出Ⅱーその場のための展示作りー、金沢学院大学紀要、第17号、169-174、2019 ◇ゼミ活動におけるまちなかアート創出Ⅰー見つけることを主題にしたデザインの取り組みからー金沢学院大学紀要、第16号、266-271、2018 ◇デザインによる過疎地域の寺院問題への取り組み、アートミーツケア学会 オン ラインジャーナル第9号、14-31、2018 ◇デザインによる地域連携の試み 高精細画像プリントによるクリーニングクロスの開発プロセスとアクティブラーニングの実践報告、金沢学院大学紀要、第15号、285-297、2017

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①「ケア」を念頭に置いたヒトとコトを繋ぐコミュニケーションデザインの考察
- ②素材研究と質的要素を加味したビジュアルデザインの考察

(Issei Yoshida)

准教授

吉田 一誠



学修基礎Ⅲ キャリアデザイン基礎 芸術表現基礎 メ

- ① 担当科目 : ディアデザイン論 CG 実習 メディア基礎 マルチメディア論 卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1978/10
- ③ 出身学校 : ロンドン大学、ロンドンインスティテュート、ロンドンメトロポリタン大学
- ④ 学位 : MA Fine Art MA Digital Media
- ⑤ 所属学会 : 芸術科学会 日本図学会
- ⑥ E-mail : i-yosida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, Hidekazu Tsujiai, “Projection Mapping Creation that Targets Town Revitalization – Using Awagasaki Amusement Park in Uchinada Town” International Symposium on Business and Social Sciences 2017 Bali, Indonesia
◇Issei Yoshida, “A Study on the Production of Projection Mapping using Kutani-Ware Platters” Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2016, Savannah, Georgia
◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, “The Expression of the Traditional Craft Article of Ishikawa Prefecture by Projection Mapping” International Symposium on Business and Social Sciences 2016 okinawa ◇Tokyo Wonder Wall 公募2014 入選 ◇Aomori Print トリエンナーレ2014 入選

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

クリエイティブスキルを活用したまちづくり

(Keniti Katou)

講師 **加藤 謙一**



博物館概論 博物館資料論 博物館情報・情報メディア論
博物館資料保存論 博物館経営論 博物館実習Ⅰ 博物館
展示論 民俗学Ⅰ・Ⅱ 生涯学習概論

① 担当科目 :

② 生 年 月 : 1974/5

③ 出身学校 : 関西大学

④ 学 位 : 修士(文学)

⑤ 所属学会 : 日本・ミュージアムマネジメント学会 日本展示学会
大学教育学会

⑥ E-mail : k-katou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「収蔵展示を考える」『研究所報』No. 32、金沢美術工芸大学美術工芸研究所、2019年◇「大学教育で活用できる展示をつくる～「開架閲覧型収蔵展示」の可能性～」『展示学』57号、日本展示学会、2019年◇「平成の百工比照収集作成事業」特別展『工芸継承～東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在』図録、国立民族学博物館、2018年

【展覧会】

◇「髹漆の探求者 漆芸家坂下直大 回顧展」、金沢美術工芸大学美術工芸研究所ギャラリー、2018年9月26日～12月22日

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

・文化財の保存・活用に果たす展示の役割・芸術系大学における卒業買上作品の保存と活用に関する実態把握・漆芸家 坂下直大の作品調査及び工房資料に関わる物質文化研究

(Soshi Muratani)

講師 **村谷 聡志**



学修基礎Ⅲ キャリアデザイン基礎 芸術表現基礎 メ

① 担当科目 : ディアデザイン論 CG 実習メディア基礎 マルチメディア論 卒業制作・研究Ⅰ・Ⅱ

② 生 年 月 : 1981/6

③ 出身学校 : 金沢学院大学

④ 学 位 : 学士(芸術学)

⑤ 所属学会 : 日本工芸会

⑥ E-mail : muratani@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇第22回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞
◇第29回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞
◇第68回現代美術展 次賞
◇第72回現代美術展 次賞
◇第34回日本伝統漆芸展 奨励賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①乾漆技法による造形表現の迫及
②漆芸素材・造形素材・漆芸技法に関する調査と研究
③漆芸における2D、3Dソフトを用いたデジタルモデリングの応用

金沢学院大学 人間健康学部

学部長 藤原 勝夫

	教授	准教授	講師	助教
スポーツ健康学科	高 賢一 外山 寛 ○福井 卓也 藤原 勝夫 丸山 章子 渡辺 涼子 渡辺 直勇		清田 直恵 安井 孝志 山脇あゆみ	菊政 俊平 野寺 巧寛 棟田 雅也 (諸江 真一)
健康栄養学科	飯田 範子 ○川村美笑子 鈴木 三枝 高橋 徹 七尾由美子 林 直之 渡邊 琢夫	鶴見 田鶴子 西村 栄恵 三ツ口千代菊	田井 勇毅	千葉 歩美

○：学科長

(五十音順)

(Kenichi Taka)

教授 **高 賢一**



- ① 担当科目 : 教職論 教育学 教育相談
- ② 生 年 月 : 1953/5
- ③ 出身学校 : 上越教育大学大学院修士課程 (教育学研究科)
- ④ 学 位 : 修士 (教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本教育心理学会、日本学校教育相談学会
- ⑥ E-mail : k-taka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

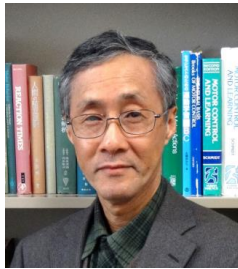
◇「不登校を乗り越えるために」(2017 年、単著、北國新聞出版局) ◇「不登校だっていいじゃないか」(2016 年、単著、アントレックス社) ◇「教務主任の仕事術 2 (第 3 章)」(2013 年、単著、教育開発研究所) ◇「いじめ・不登校・ひきこもり相談」(2017 年、共著、小児内科 49 巻) ◇「子どもの生きる力を育てるソーシャルスキルの推進」(2015 年、単著、金沢星稜大学人間科学研究第 8 巻第 2 号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・不登校・いじめ・ひきこもり問題の対応に関する研究
- ・子どもの生きる力を育てるソーシャルスキルに関する研究

(Hiroshi Toyama)

教授 **外山 寛** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 運動生化学 学校保健 専門演習 I・II 運動処方 生理学基礎 他
- ② 生 年 月 : 1957/5
- ③ 出身学校 : 東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻
- ④ 学 位 : 博士 (学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本健康行動科学会 Society for Neuroscience
- ⑥ E-mail : toyahiro@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Changes in body sway and muscle activity with adaptation while standing on an oscillating floor. Health and Behavior Sciences, 13(1), 2014. ◇健康高齢女性における身体活動量、下腿筋力および下腿三頭筋厚の秋期から冬期への変化. Health and Behavior Sciences, 12(1): 2013. ◇Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during backward disturbance by transient floor translation in the elderly. J Physiol Anthropol, 31(12), 2012. ◇Effects of regular heel-raise training aimed at the soleus muscle on dynamic balance associated with arm movement in elderly women. J Strength Cond Res, 25(9), 2011. ◇サポート機能を有する下着着用後の足踏み運動時の身体の非対称性軽減. Health and Behavior Sciences, 9(2): 173-82, 2011. ◇Changes in muscle thickness of gastrocnemius and soleus associated with age and sex. Aging Clin Exp Res, 22(1), 2010. ◇Regular heel-raise training focused on the soleus for the elderly: evaluation of muscle thickness by ultrasound. J Physiol Anthropol, 29(1), 2010. ◇Determination of disturbance parameters of forward floor translation for balance training to prevent falling. Health and Behavior Sciences, 8(1), 2009. ◇Postural muscle activity patterns during standing at rest and on an oscillating floor. J Electromyogr Kinesiol, 16, 2006. ◇Perception of large change in distribution of heel pressure during backward leaning. Perceptual and Motor skills, 100, 2005.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

随意運動の自動化

(Takuya Fukui)

教授

福井 卓也

スポーツ健康学研究科担当



- 専門演習Ⅰ・Ⅱ 競技者育成システム 地域とスポーツ
- ① 担当科目 : スポーツイベント企画運営 学習基礎 運動学 スポーツ実技Ⅶ (トランポリン)
- ② 生年月 : 1970/2
- ③ 出身学校 : 日本体育大学
- ④ 学位 : 体育学修士 (日本体育大学)
- ⑤ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本健康行動学会
- ⑥ E-mail : fukui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇トランポリン競技における技の体系化に関する研究◇トランポリン競技におけるオリンピック強化対策に関する一考察～ロンドンオリンピック日本代表男子選手の事例～◇いしかわグローバルアスリート支援事業に対するスポーツデンティスト活動◇トランポリンの跳躍における姿勢と筋活動様式

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ・トランポリン競技における跳躍高に関する研究
- ・トランポリン競技における頭部傾斜が跳躍に及ぼす影響

(Katsuo Fujiwara)

教授

藤原 勝夫

スポーツ健康学研究科担当



- 健康科学 運動生理学 機能的解剖学 生命倫理 海外
- ① 担当科目 : 文献講読 専門演習Ⅰ・Ⅱ 運動生理学特論 運動適応特論 他
- ② 生年月 : 1953/5
- ③ 出身学校 : 筑波大学大学院博士課程体育科学研究科
- ④ 学位 : 教育学博士
- ⑤ 所属学会 : 日本健康行動科学会、Society for Neuroscience
- ⑥ E-mail : fujikatu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇運動機能解剖学. 北國新聞出版社編集部. 2019◇サッケード制御系とその経路への頸部前屈保持効果. Health and Behavior Sciences. 18(1), 1-12. 2019.◇高齢者における森歩き運動と水中運動の健康増進効果. Health and Behavior Sciences. 17(2), 67-76. 2019.◇Investigation of pro-saccade and finger flexion reaction times in basketball and racket sports players. Health and Behavior Sciences. 17(2): 7-11. 2019◇Developmental changes in shortening of pro-saccade reaction time while maintaining neck flexion position. Journal of Physiological Anthropology 37: 2. 2018.◇Timings of attentional switching to perturbation and postural preparation during transient forward or backward floor translation. Journal of Physiological Anthropology 37: 1. 2018.◇Estimation of Back Muscle Strength Based on Muscle thickness of erector spinae measured by ultrasound scanner. Physical Medicine and Rehabilitation Journal, 1(1):111. 2017◇Activation timing of postural muscles of lower legs and prediction of postural disturbance during bilateral arm flexion in older adults. Journal of Physiological Anthropology 36: 44. 2017.◇Postural control and contingent negative variation during transient floor translation while standing with the ankle fixed. J Physiol Anthropol. 36(1):7. 2016.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、脳賦活、事象関連脳電位、注意機能、体力

(Akiko Maruyama)

教授

丸山 章子

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ科学 スポーツ競技の心理 スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング演習Ⅰ・Ⅱ
スポーツ実技Ⅱ(体作り・ニュースポーツ) スポーツ実技Ⅶ(器械体操・トランポリン)
- ② 生年月月 : 1973/7
- ③ 出身学校 : 金沢大学教育学部
- ④ 学 位 : 教育学修士(金沢大学)
- ⑤ 所属学会 : スポーツ心理学会
- ⑥ E-mail : akiko-f@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「トランポリン競技における Lost Skill Syndrome に関する臨床的研究」金沢大学平成 10 年度修士論文 ◇「バスケットボール選手における心理的コンディショニングが競技成績に及ぼす影響」(金沢大学教育学部紀要第 46 号 1998) ◇「トランポリン選手のメンタルトレーニングに関する縦断的研究」金沢大学教育学部紀要第 47 号 1998 ◇「トランポリン競技選手の心理的サポートに関する縦断的研究ーオリンピックを目指す女子選手の事例ー」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第 4 号 2006) ◇(公財)日本体操協会強化本部女子ナショナルチームコーチ(2009 年～現在に至るまで) ◇2012 ロンドン五輪日本代表女子コーチ

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

スポーツ競技の心理的スキルトレーニングの開発、及び心理サポートに関する研究を継続的、発展的に行い、スポーツ競技選手の強化・育成に貢献する。さらにスポーツと歯の関係についての研究も進め、有効なマウスガードの開発等を行う。

(Ryoko Watanabe)

教授

渡辺 涼子

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : トレーニング論 コーチング論 スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) 専門演習Ⅰ・Ⅱ スポーツボランティア演習 海外研修(スポーツ事情) 生涯スポーツ論
- ② 生年月月 : 1966/4
- ③ 出身学校 : 筑波大学大学院
- ④ 学 位 : 体育学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本体育学会 日本武道学会
- ⑥ E-mail : ryoko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「柔道強化選手と比較した大学柔道選手の精神的特徴」講道館柔道科学研究第 12 輯 197～204 2008 ◇「アテネオリンピックのメンタルサポーター日本代表選手の UK 分析から」、講道館科学研究会紀要第 10 編、2005 ◇「全日本女子強化選手の運動機能に関する比較研究」柔道科学研究第 1 号 7-10 1995 ◇「女子柔道強化選手の体力に関する研究」武道学研究 第 24 巻 1993 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本代表柔道選手の成育史に関する研究 ② 女子柔道選手のコンディション評価
③ 柔道における新ルール改正への影響

(Naotake Watanabe)

教授 **渡辺 直勇**



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) スポーツ科学 就職基礎講座 就職対策講座 専門演習Ⅰ・Ⅱ スポーツボランティア論 基礎演習
② 生年月 : 1965/6
③ 出身学校 : 筑波大学大学院
④ 学位 : 体育学修士
⑤ 所属学会 : 日本武道学会
⑥ E-mail : naotake@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇柔道の競技レベルが投技評価における異見発生に及ぼす影響について
◇現代人のための健康づくり
◇「柔道選手における無酸素パワーと有酸素パワーの関係について」筑波大学修士論文 1989
◇「一流男子柔道選手の試合前のコンディショニングに関する実態調査」武道学研究 1997
◇「世界強豪選手の組み手と技データ～2001 世界選手権」柔道科学研究第8号 2003
◇「学生生活におけるマナー意識向上のためのシステムの提案」本教育メディア学会 2010

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 柔道選手における体力について ② 柔道競技の審判法について ③ 武道教育について

(Noriko Iida)

教授 **飯田 範子**



- ① 担当科目 : 給食経営管理論 給食栄養管理論 給食経営管理基礎実習 給食経営管理応用実習
② 生年月 : 1954/4
③ 出身学校 : 北海道栄養短期大学
④ 学位 :
⑤ 所属学会 : 日本給食経営管理学会評議員 日本臨床栄養学会 日本栄養改善学会
⑥ E-mail : n-iida@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇著書『給食実務必携』共著、第一出版(2013.2017) ◇『病院給食業における業務、労務管理の実践』単書、雇用・能力開発機構(2008) ◇『病院給食業におけるクレームの対応と対策』単書雇用・能力開発機構(2008) ◇イラストによる食物摂取調査及び結果が食生活改善に効果報告(2015) -日本健康体力栄養学会 ◇長期入院患者へのアミノ酸配合ゼリーによる栄養改善効果について(2009) -日本臨床栄養学会誌 ◇食品成分表の調理加工食品群の収載食品への期待(2010) -日本栄養改善学会誌 ◇コントラクトにおける栄養コンサルティングの実際(2007) -日本給食経営管理学会 ◇21 世紀の食事サービスの向上に関する研究(2002, 2003, 2004) -日本メディカル給食協会

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① フードサービスマネジメントにおける給食及び調理実務の効率的な展開 ② 大量調理における食品の選択と調理技術の効率的な方法

(Mie Suzuki)

教授 **鈴木 三枝**



- ① 担当科目 : 公衆栄養学 地域栄養演習 公衆栄養活動論 公衆栄養学
実習 臨地実習Ⅴ(公衆栄養)
- ② 生年月 : 1949/9
- ③ 出身学校 : 相模女子大学
- ④ 学位 : 家政学士
- ⑤ 所属学会 : 日本公衆衛生学会, 日本栄養改善学会, 日本健康学会
- ⑥ E-mail : suzuki-m@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇給食施設における臨地・郊外実習の現状と課題～臨地・郊外実習生受託者を対象とする調査研究報告～(共著)2010 昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要 Vol. 19◇臨地実習の課題と今後の方向性保健の科学 2011. 3Vol153◇管理栄養士養成における「包括的計画論－workshop 方式」の教育効果について(共著)日本公衆衛生学会 2009(P586)、2010(1505－4)◇大学生の参加による地域住民主体型介護予防活動の活性化(共著)日本民族衛生学会 2016【著書】◇健康づくり栄養指導事例集Ⅱ～地域における指導記録から～(共著)1992 第一出版◇栄養士のための栄養指導論(第6版)(共著)2019 学健書院◇エスカレーター式栄養指導論(第8版)(共著)2019 同文書院◇公衆栄養学(第7版)(共著)2019 光生館◇給食実務者必携(共著)2020 第一出版◇公衆栄養学実習(共著)2020 第一出版

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高齢者のフレイル状態と健康な生活について

(Toru Takahashi)

教授 **高橋 徹**



- ① 担当科目 : 食品学Ⅰ・Ⅱ 食品学実験 生物学基礎 食品科学・機能論
- ② 生年月 : 1971/1
- ③ 出身学校 : 石巻専修大学、岡山大学
- ④ 学位 : 博士(学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養・食糧学会、World Congress on Clinical Nutrition、
ハインドガットクラブ
- ⑥ E-mail : t-takahashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇The Role of Functional Food Security in Global Health (Eds. RB Singh, RR Watson, T. Takahashi), Academic Press, Elsevier, London 2018◇Analysis of the Factors Controlling the Abdominal Circumferences in Japanese High School Students Using the Bayesian Network, Journal of Food and Nutrition, in press◇Relationships between pathologic subjective halitosis, olfactory reference syndrome, and social anxiety in young Japanese women, BMC Psychology, 2017 14;5(1):7. doi: 10.1186/s40359-017-0176-1.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

咀嚼物の嚥下時の挙動 血糖値制御 脂質の吸収機序の解明

(Yumiko Nanao)

教授 **七尾 由美子**



- ① 担当科目 : 栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ 栄養情報処理
演習 学修基礎Ⅰ 就職基礎講座 就職対策講座
- ② 生年月 : 1968/7
- ③ 出身学校 : 東京家政大学
- ④ 学位 : 博士(学術) 東京家政大学
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本食育学会 他
- ⑥ E-mail : nanao@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

モデル地区の住民を対象とした健康増進プログラムの試み

児童のお手伝い行動と「食に関する感謝の念」の関連性

～性別による違いの検討～

カフェテリア方式での料理の並び順は食事選択に影響するか第1～4報

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ナッジ理論の食生活への応用

大学生の食生活の実態調査

大学生の食習慣と食環境の関連性

管理栄養士養成のためのプログラム検討 他

(Naoyuki Hayashi)

教授 **林 直之**



- ① 担当科目 : 生化学Ⅰ・Ⅱ 生化学実験Ⅰ・Ⅱ 生物有機化学 化学基
礎 栄養細胞生理学 他
- ② 生年月 : 1962/7
- ③ 出身学校 : 大阪大学大学院工学研究科
- ④ 学位 : 工学博士
- ⑤ 所属学会 : 日本分子生物学会 日本生化学会 日本癌学会
- ⑥ E-mail : n-hayashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

Altered metabolic regulation owing to gsp1 mutations encoding the nuclear G protein in *Saccharomyces cerevisiae*. *Curr Genet* 66:335-344 (2020) 共著 ◇MicroRNA-140 mediates RB tumor suppressor function to control stem cell-like activity through interleukin-6. *Oncotarget* 8:13872-13885 (2017) 共著 ◇Regulatory interactions between NBS1 and DNMT1 responding to DNA damage. *J Biochemistry (Tokyo)* 154:429-435 (2013) 共著 ◇ATM mediated pRB function to control DNMT1 protein stability and DNA methylation. *Mol Cell Biol* 33:3113-3124 (2013) 共著 ◇NBS1 directly activates ATR independently of MRE1 and TOPBP1. *Genes Cells* 18:238-246 (2013) 共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

細胞増殖を調節する遺伝子による代謝制御

(Takuo Watanabe)

教授 **渡邊 琢夫**



- ① 担当科目 : 解剖生理学 解剖生理学実験 病理学 病態生理学
- ② 生年月 : 1960/10
- ③ 出身学校 : 東北大学医学部 同大学院医学系研究科
- ③ 学位 : 医学博士
- ⑤ 所属学会 : 日本生化学会 日本糖尿病学会 米国分子生物学・生化学学会
- ⑥ E-mail : takuo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Regulation of alternative splicing of the receptor for advanced glycation endproducts (RAGE) through G-rich cis-elements and heterogenous nuclear ribonucleoprotein (hnRNP) H. J. Biochem., 147, 651-659 (2010). 共著 ◇Reduced expression of endogenous secretory receptor for advanced glycation endproducts in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains. Arch. Histol. Cytol., 70, 279-290 (2007). 共著 ◇Endogenous secretory receptor for advanced glycation end-products inhibits amyloid- β 1-42 uptake into mouse brain. J. Alzheimers Dis., 28, 709-720 (2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

糖尿病をはじめとする生活習慣病の病態や合併症の発症機構を細胞・分子レベルで理解し、その知見を生活習慣病の予防に生かしていきたい。

(Tazuko Tsurumi)

准教授 **鶴見 田鶴子**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 栄養アセスメント 臨床栄養実践演習 臨床栄養学実習 応用栄養学実習 他
- ② 生年月 : 1952/8
- ③ 出身学校 : 放送大学大学院 文化科学研究科 修士課程
- ④ 学位 : 修士(学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本病態栄養学会、日本臨床栄養代謝学会 他
- ⑥ E-mail : turumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

『著書』◇Nutrition Care(ニュートリションケア)経口摂取量upのヒント!食べられない理由とその対策(2011)共著◇ケースで学ぶ栄養管理の思考プロセス第4巻呼吸器疾患・癌・周術期・ライフステージ(2011)共著◇臨床栄養 別冊 NCMシリーズ 栄養ケアマネジメント ファーストトレーニング3呼吸器疾患、摂食・嚥下障害、褥瘡他(2012)共著◇管理栄養士のための疾患・症状・身体のはたらきイラスト事典 臨床栄養キーワードこれだけ 60(2012)共著◇ナースینگケアQ&A第50号そこが知りたい!がん化学療法とケアQ&A第2版(2014)共著 他

『論文』◇肝臓病治療食の脂肪酸組成(1982)共著◇離乳期乳児のそしゃくの指導に関する研究(1992)共著◇ベビーフードの使用と離乳の進行状況(1993)共著◇母親の離乳食作りに対する姿勢と離乳の進行(1994)共著◇離乳に関する情報入手と離乳の実態との関連性(1994)共著◇離乳の進行状況に関する実態調査(1994)共著◇重症心身障害児(者)施設において提供している食事の食物形態別の物性評価に関する考察(2015)単著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

食事の食物形態別の物性評価に関する研究 糖尿病等の食事療法に関する研究 他

(Sakae Nishimura)

准教授

西村 栄恵



- ① 担当科目 : 調理学 調理学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 調理科学実験
- ② 生年月 : 1970/3
- ③ 出身学校 : 中村学園大学大学院栄養科学研究科
- ④ 学位 : 修士(栄養科学)
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養改善学会、日本栄養士会
- ⑥ E-mail : sakae-n@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇三訂マスター応用栄養学(分担執筆), 建帛社(2015) ◇青年成人期にある若年者の食生活調査 第6報-食育手法を検討するために-, 松山東雲短期大学研究論集 第46巻, pp.61-67, 2016
◇青年成人期にある若年者の食育手法を検討するために~食事バランスガイドによる意識変容について, 日本栄養改善学会 第66回学術総会(2019)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

食事の食物形態別の物性評価に関する研究 糖尿病等の食事療法に関する研究 他

(Chiyogiku Mitsuguchi)

准教授

三ツ口 千代菊



- ① 担当科目 : 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養実践演習 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学演習
- ② 生年月 : 1951/9/
- ③ 出身学校 : 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科栄養科学専攻博士後期課程
- ④ 学位 : 博士(栄養科学)
- ⑤ 所属学会 : 病態栄養学会, 日本臨床栄養協会
- ⑥ E-mail : mituguti@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇心理社会的側面を考慮に入れた管理栄養士による食事指導の実施が対象者の糖尿病に対する負担感情・性格・食行動およびHbA1cに与える影響の経時的検討◇葉酸と神経管閉鎖障害ならびにライフスタイル指導に関する栄養士の認知度調査(資料) ◇女子大学生における葉酸・神経管閉鎖障害に関する知識と葉酸摂取量および食物摂取構造解析◇Effects of Folic Acid-Fortified Milk Consumption on Serum Folate Levels in Japanese Female Students: a Randomized Controlled Trial Stratified by Methylenetetrahydrofolate Reductase C677T Genetic Polymorphism◇メチレンテトラヒドロ還元酵素遺伝子多型C677Tと葉酸摂取量、血清葉酸値および血漿ホモシステイン値との関連 -葉酸添加発酵乳を用いたシングルアーム介入試験-

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

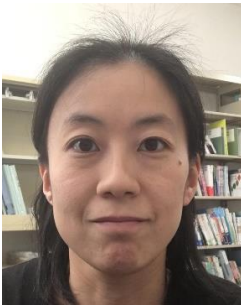
高齢者の食事調査を行う際、食物を調理前あるいは食べる前に、測って記録する秤量食事調査を本人・代理者に依頼するのは困難な場合が多い。そこで、食前・食後の料理を撮影してもらい、栄養士が食品、重量を推定する食事写真記録法(写真法)の妥当性および推定者間の誤差について検討する。

(Naoe Kiyota)

講師

清田 直恵

スポーツ健康学研究科担当



生理学 社会福祉学 トレーニング論 トレーナー演習

- ① 担当科目 : 健康運動演習 健康管理演習 生活習慣病概論 スポーツ健康学特論 地域スポーツ活用特論 情報科学特論
- ② 生年月月 : 1982/11
- ③ 出身学校 : 金沢大学大学院医学系研究科
- ④ 学位 : 博士(医学)
- ⑤ 所属学会 : Society for Neuroscience 日本生理人類学会 日本健康行動科学会 日本理学療法士協会
- ⑥ E-mail : kiyota@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇運動機能解剖学. 第4章「股関節」. 北國新聞社, 2019 ◇Investigation of pro-saccade and finger flexion reaction times in basketball and racket sports players. Health Behav Sci., 17(2):41-46, 2019 高齢者における森歩き運動と水中運動の健康増進効果. Health Behav Sci., 17(2):67-76, 2019 ◇Developmental changes in shortening of pro-saccade reaction time while maintaining neck flexion position. J Physiol Anthropol., 37(1):2, 2018 ◇Timings of attentional switching to perturbation and postural preparation during transient forward or backward floor translation. J Physiol Anthropol., 37(1):1, 2018 ◇Activation timing of postural muscles of lower legs and prediction of postural disturbance during bilateral arm flexion in older adults. J Physiol Anthropol., 36(1):44, 2017 ◇Postural control and contingent negative variation during transient floor translation while standing with the ankle fixed. J Physiol Anthropol., 36:7, 2016 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、抑制機能

(Takashi Yasui)

講師

安井 孝志



スポーツ実技(サッカー) スポーツ科学 球技演習II

- ① 担当科目 : 専門演習I スポーツ集団の形成と社会 他
- ② 生年月月 : 1960/1
- ③ 出身学校 : 法政大学
- ④ 学位 : 学士(経営学)
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : yasui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

【競技歴】◇法政大学(関東大学サッカーリーグ1部優勝・総理大臣杯優勝等) ◇日産自動車(日本リーグ優勝・天皇杯優勝・JSLCUP 優勝等) 【指導歴・資格】◇国民体育大会成年の部で優勝、富山県立水橋高等学校(高円宮杯全国ユース大会) ◇U18 ベスト 8、北信越総体優勝 2 回、高円宮杯 U18 プリンスリーグ北信越優勝 1 回) ◇日本サッカー協会 S 級コーチ(日本体育協会上級コーチ) 日本サッカー協会 B 級インストラクター 日本サッカー協会ウェルフェアオフィサー 日本サッカー協会マッチコミッショナー

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

・「いつでも・どこでも・だれにでもともに楽しめるスポーツ」の創造・欧州サッカーにおける戦術研究

(Ayumi Yamawaki)

講師

山脇 あゆみ

スポーツ健康学研究科担当



スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ実技Ⅴ(サッカー・バレー)

- ① 担当科目 : Ⅰ) 体育史 専門演習Ⅰ スポーツ実技Ⅲ(陸上) 基礎演習 他
- ② 生年月 : 1983/8
- ③ 出身学校 : 金沢大学大学院
- ④ 学位 : 博士(学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本体育学会 日本野外教育学会 東北アジア体育スポーツ史学会
- ⑥ E-mail : yamawaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇日本泳法の伝播と変容(博士論文)[金沢大学大学院 2015 受理] ◇組織キャンプにおける参加児童の社会的行動に関する研究、野外教育研究第 14 号、pp.1-12 (2011) ◇台湾に伝えられた日本泳法-古亭庄水泳場と基隆水泳場を中心に-、体育史研究第 30 号、pp.97-108 (2013)
◇金沢に伝わる古式泳法に関する研究-清記流の泳法について-、金沢学院大学紀要第 11 号経営・経済・情報科学・自然科学編、pp.199-207 (2013)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 野外教育 ② 野外スポーツ ③ 日本泳法

(Yuuki Tai)

講師

田井 勇毅



- ① 担当科目 : 基礎系実験の補助および臨地実習等のサポート
- ② 生年月 : 1987/8
- ③ 出身学校 : 大阪体育大学大学院
- ④ 学位 : 修士(スポーツ科学)
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養・食糧学会、日本スポーツ栄養学会、ポルフィリン-ALA 学会
- ⑥ E-mail : y-tai@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇体重増加速度の違いが成長期ラットの身体組成に及ぼす影響、日本スポーツ栄養研究誌 Vol.11 pp41-50 (2018) 共著◇女子トランポリン競技選手に対する減量を目的とした栄養サポート、金沢学院大学紀要、第 16 号、pp236-240 (2018) 共著◇大学ラグビー選手のポジション別の身体計測データ、金沢学院大学紀要、第 17 号、pp164-168 (2019) 単著、他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

エネルギー代謝に関する研究 スポーツ選手の栄養サポートに関する研究

(Shumpei Kikumasa)

助教

菊政 俊平

スポーツ健康学研究科担当



- スポーツ心理学 メンタルトレーニング論 スポーツ統
① 担当科目 : 計学 海外文献講読 情報活用演習 スポーツ実技Ⅳ(テ
ニス・バドミントン) スポーツ科学 専門演習Ⅰ 他
③ 生 年 月 : 1992/6
③ 出身学校 : 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻
④ 学 位 : 体育科学博士
⑤ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 北米スポーツ心
理学会 (NASPSPA) 日本野球科学研究会
⑥ E-mail : kikumasa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇試合状況に関する情報が野球の捕手におけるプレー指示場面での状況判断に及ぼす影響. 体育学研究, 65: 237-252, 2020. ◇野球の捕手が2者間で行う打球処理の判断に係る時間的および空間的情報. 体育学研究, 64: 613-624, 2019. ◇野球の捕手におけるプレー指示場面での予測に関する時間的遮蔽を用いた検討. 体育学研究, 63: 685-694, 2018. ◇野球の捕手におけるプレー指示場面での状況判断および視覚探索に関する方略. スポーツ心理学研究, 45: 27-41, 2018. ◇野球の捕手におけるフィールドでの状況判断能力に関する認知的要因の検討. いばらき健康・スポーツ科学, 32: 1-10, 2016.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

集団スポーツにおける状況判断の方略に関する検討

(Yoshihiro Nodera)

助教

野寺 巧寛

スポーツ法学 スポーツ行政論 スポーツ社会学 スポ



- ① 担当科目 : ーツメディア論 専門演習Ⅰ・Ⅱ プレゼンテーション
演習 地域課題研究 スポーツ実技Ⅲ(陸上) 他
② 生 年 月 : 1989/12
③ 出身学校 : 明治大学大学院
④ 学 位 : 修士(法学)
⑤ 所属学会 : 日本法哲学会、日本スポーツ産業学会、日本スポーツ法学
会、法文化学会
⑥ E-mail : nodera@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「フランスのドーピング対策法制について」法学研究論集第50号(明治大学大学院), pp. 187-206, 2019年2月. ◇「欧州連合のアンチ・ドーピング: 超国家的法体制の構築に向けて」日本スポーツ法学会年報第25号(日本スポーツ法学会), pp. 110-131, 2018年12月. ◇「フランスにおけるアンチ・ドーピング法の転換期: 1989年のドーピング法改正をめぐって」法学研究論集第47号(明治大学大学院), pp. 111-130, 2017年9月. ◇「アンチ・ドーピング法とパターンリズム: フランスにおける創生から」法学研究論集第46号(明治大学大学院), pp. 161-182, 2017年2月. ◇「20世紀中葉のフランスとアンチ・ドーピング法: 「スポーツ競技会における興奮剤の使用の取締りに関する法律案」をめぐって」法学研究論集第44号(明治大学大学院), pp. 137-154, 2016年2月. ◇「欧州連合における食品の安全確保とドーピング予防」日本スポーツ法学会第26回研究大会 同志社大学(京都), 2018年12月. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

1. スポーツと法の関係 2. 日本国及び諸外国(特にフランス)のアンチ・ドーピング法
3. 欧州連合のスポーツ法政策 ほか

(Masaya Muneda)

助教

棟田 雅也

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ経営管理 スポーツマーケティング スポーツ
ビジネス概論 専門演習Ⅰ・Ⅱ 就職基礎・対策講座 FSP
講座 スポーツ科学(健康栄養学科) スポーツ実技(ソ
フトボール、スキー)
- ② 生年月月 : 1989/8
- ③ 出身学校 : 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科
- ④ 学 位 : スポーツ科学修士
日本スポーツマネジメント学会 アジアスポーツマネジ
メント学会 日本体育・スポーツ経営学会 日本生涯スポ
ーツ学会 日本体育学会
- ⑥ E-mail : muneda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇スポーツツーリズム推進団体における課題構造の検討：我が国のスポーツコミッションに着目して. 日本スポーツマネジメント学会第12回大会一般研究口頭発表(学術研究), 東海大学, 2020, 共著. ◇What Motivates Wheelchair Basketball Spectators? —Analysis of Moderating Effects on Intention to Attend Tokyo 2020 Olympic Paralympic Games—. International Journal of Sport and Health Science, 17: 217-226, 2019, 共著. ◇日本の大学におけるスポーツマネジメント教育の現状と課題: この10年で日本のスポーツマネジメント教育はどう変わったか. スポーツマネジメント研究, 11(1), 37-46, 2019, 共著. ◇Image Comparison of Adapted and Non-adapted Sport among Wheelchair Basketball Spectators. Oral Presentation at the 15th Asian Association for Sport Management Conference, Tokyo, Japan, 2019, 共著.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

スポーツツーリズム、スポーツマネジメント教育、アダプテッドスポーツ、サービスクオリティ、満足度、行動意図、選好行動、動機

(Ayumi Chiba)

助教

千葉 歩美



- ① 担当科目 : 基礎栄養科学実験 調理科学実験等の補助
- ② 生年月月 : 1993/12
- ③ 出身学校 : 徳島大学大学院(修士)
- ④ 学 位 : 修士(栄養学)
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養士会
- ⑥ E-mail : chiba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「腸内微生物叢を介した食物アレルギー制御の可能性について～食物アレルギーに対する食事療法の確立にむけて～」共著 仁愛大学紀要(人間生活学部篇)第7号(2015) p29-46 ◇「インカート調理法による鶏卵調理における微生物殺菌効果の検証～大量調理施設における半熟卵提供の可能性～」共著 仁愛大学紀要(人間生活学部篇)第8号(2016) p21-34

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

外出自粛期間中の栄養状態の実態調査

金沢学院大学 基礎教育機構

機構長 馬場先 恵子

教授	准教授	講師	助教
(岡田 正則*(情)) 土農 力 竹村 裕樹 (中島 彰史*(文)) (馬場先恵子*(情))	小西 尚之 中村 晋也*(文) 中村 直行 坂東 貴夫*(文)	中川恵理子 水橋 雄介 (林 文慧*(済))	諸江 真一*(健)

※ () は兼務先学部

〈五十音順〉

(Riki Shino)

教授 **土農 力**



- ① 担当科目 : 金沢まち学Ⅰ
- ② 生年月 : 1966/12
- ③ 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ④ 学位 : 芸術学修士
公益社団法人日展会員 一般財団法人石川県美術文化協会
- ⑤ 所属学会 : 理事 一般社団法人日本美術家連盟会員 京都日本画家協会
会員 青塔社会員
- ⑥ E-mail : riki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇日展入選「埠頭」「HONG KONG' 90」「Brooklyn Brigde」他(1987～2003) ◇日春展入選・受賞・
会員出品(1987～2015) ◇文化庁芸術インターンシップ研修員(1995) ◇現代美術展美術文化大賞
「サンフランシスコ」(1996) ◇日展特選「Lex. Avenue」(2000) ◇日展特選「Montparnasse」(2003)
◇日展無鑑査・出品委嘱「闘牛場の見える街」他(2004～2006) ◇全関西美術展審査員(2005)
◇現代美術展審査員(同'99,'01,'04,'08,'11) ◇日展審査員(2007) ◇日展会員出品(2008
～) ◇金沢市文化活動賞受賞(2008) ◇日展会員賞「THE BRONX」(2011) ◇「こころの京都」
百選展(京都府)に「あまのはしだて」出品(2013) ◇「中町力日本画展」NEW YORK Drawing & Painting
-(永井画廊 2013) ◇紺綬褒章(2013) ◇Saion des Beaux Arts 2014 (SNBA 展パリ・ルーブル) 審査
員賞 ◇第1回 石川県文化奨励賞(2016) ◇「金沢を歩く」土農 力 スケッチ展 (石川県立歴史
博物館ギャラリー2016) ◇「旅する日本画 土農力作品集」(飛鳥新社・2019)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

写生取材及び日本画作品の制作と発表

(Hiroki Takemura)

教授 **竹村 裕樹**



- ① 担当科目 : 地域課題研究Ⅱ 金沢まち学Ⅱ 他
- ② 生年月 : 1955/1
- ③ 出身学校 : 東京大学
- ④ 学位 : 工学士
- ⑤ 所属学会 : 日本都市計画学会 土木学会 日本都市環境デザイン会議
- ⑥ E-mail : hrk-take@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「人口減少・高齢化時代における成熟都市金沢の課題と処方箋の一考察」(2020 金沢学院大学紀
要第18号) ◇「地方都市の再生戦略」(共著 2013 学芸出版社) ◇石川県都市計画マスタープラン策
定 ◇石川県景観総合条例制定・指針策定 ◇金沢外環状道路計画及び事業 ◇金沢副都心整備計画及
び事業 ◇香林坊地区再開発事業 ◇金沢都市圏都市交通計画 (P & R、新交通システム)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇人口減少・少子高齢化時代の都市計画の理論と実践 ◇北陸新幹線金沢開業を活かした地域活性化
方策と観光公害対策 ◇産学官連携や大学間交流によるまちづくりの実践 ◇歴史と文化伝統を活かした
風格あるまちづくり

(Naoyuki Konishi)

准教授

小西 尚之



- ① 担当科目 : 教職課程
- ② 生年月 : 1972/9
- ③ 出身学校 : 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程(単位取得満期退学)
- ④ 学位 : 修士(教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本教育社会学会、日本教育学会、日本学校教育学会
- ⑥ E-mail : n-konishi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「総合学科高校におけるカリキュラム・トラッキング—3年間のパネル調査から」2012年、『カリキュラム研究』第21号、29-42頁◇「高等学校総合学科におけるトラックの『誤認』—系列と進路選択に関する事例調査から」2014年、『学校教育研究』第29号、88-99頁◇「設置後25年の総合学科高校の現状—『総合学科高校の教育に関する実態調査』の結果から—」2020年、『高崎健康福祉大学紀要』第19号、13-25頁

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 総合学科高校における進路選択

(Shinya Nakamura)

准教授

中村 晋也



- ① 担当科目 : 保存科学概説Ⅰ・Ⅱ 保存科学演習Ⅰ・Ⅱ 保存科学実習
保存科学特殊講義 文化財と自然科学 埋蔵文化財の保護と活用 プレ卒業研究演習 卒業研究 FSP 講座 私のキャリアプランニング
- ② 生年月 : 1971/10
- ③ 出身学校 : 奈良大学文学部文化財学科
- ④ 学位 : 文学士
- ⑤ 所属学会 : 日本文化財科学会 文化財保存修復学会(理事)
- ⑥ E-mail : nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇能登半島地震における復興支援活動-被災資料の調査・修復から復興へ- (『文化財の保存と修復-災害から文化財をまもる-』2012年) ◇トレハロースを使用した真空凍結乾燥による出土木材の保存処理研究 (『文化財保存修復学会第36回大会研究発表要旨集』2014) ◇福井市内の遺跡から出土した耳環の自然科学的研究 (『日本文化財科学会第34回大会研究発表要旨集』2017) ◇加茂遺跡加茂遺跡出土の帯金具類の科学的分析調査 (『石川県埋蔵文化財情報第40号』2019) ◇陶芸における「菊練り」の習得を目指した教育プログラムの開発-「菊練り動作の解析の視点から」- (『金沢学院大学紀要第17号』2019)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①考古資料(ガラス、青銅製品など)の材質・技法に関する研究 ②出土木製品の保存処理に関する研究 ③文化財の防災・減災に関する研究

(Naoyuki Nakamura)

准教授

中村 直行

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 哲学Ⅰ・Ⅱ 哲学 数学基礎 コンピュータ活用演習Ⅰ・Ⅱ 倫理学
② 生年月 : 1964/6
③ 出身学校 : 金沢大学大学院
④ 学位 : 博士(文学)
⑤ 所属学会 : 日本科学哲学会 応用哲学会 中部哲学会
⑥ E-mail : nao-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇(単著・著作:2015)『沈黙と無言の哲学—〈語りえぬもの〉の語りなさを語る—』大学教育出版 ISBN4864293260、2015年4月20日◇(単著・論文:2016)「〈夢の使用〉と〈夢への言及〉」、金沢大学哲学・人間学論叢、柴田正良教授退職記念号(第7号)pp.51-64, 2016年3月◇(単著・論文:2016)「0人称の死」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第14号)pp.51-57, 2016年3月◇(単著・論文:2015)「私は世界のどこにもいない—誰でもない私から安心立命の私へ」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第13号)pp.43-50, 2015年3月◇(単著・論文:2014)「心と体の切っても切れない関係」、金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編(第12号)pp.43-7, 2014年3月◇(単著・論文:2013)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①『計算機のルネサンス』、論理空間と記憶

(Takao Bando)

准教授

坂東 貴夫

人文学研究科担当



- 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 英語資格試験対
① 担当科目 : 策Ⅰ・Ⅱ 海外留学・英語学・英米文学入門 言語習得研究Ⅱ
第二言語習得演習Ⅰ・Ⅱ 他
② 生年月 : 1974/3
③ 出身学校 : 名古屋大学
④ 学位 : 博士(学術)
⑤ 所属学会 : 外国語教育メディア学会 大学英語教育学会 全国英語教育学会
⑥ E-mail : bando@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英文処理における各情報間の優先度—動詞下位範疇化情報とD0-plausibilityについて—」(『環太平洋第二言語研究フォーラム2016論文集』2017年) ◇「補文標識thatの利用と補文主語の長さの関係」(『中部地区英語教育学会紀要 Vol. 46』2017年) ◇“The Influence of Verb Subcategorization Information and the Complementizer *that* on Sentence Processing by Japanese Learners of English as a Foreign Language.” (*JACET Journal*, Vol. 55, pp. 1-17, 2012)

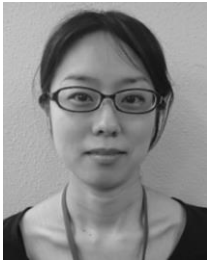
II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

『単語の不自然な組み合わせが統語構造の学習を促進するか』

(Eriko Nakagawa)

講師

中川 恵理子



- ① 担当科目 : 図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 情報資源組織演習 情報資源組織論 児童サービス論 他
- ② 生年月月 : 1983/10
- ③ 出身学校 : 武庫川女子大学文学部日本語日本文学科
- ④ 学 位 : 文学士
- ⑤ 所属学会 : 日本図書館研究会 大学図書館問題研究会 日本読書学会
- ⑥ E-mail : e-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『青春の門』論—高校生読者の視点から— (金沢学院大学紀要 第 17 号 2019 年 3 月) ◇金沢学院大学図書館における読書支援の事例報告—ブックシェアの取り組み— (大学図書館問題研究会誌 第 44 号 2018 年 4 月) ◇利用者調査を踏まえた学修支援サービスの展開—金沢学院大学図書館における事例— (金沢学院大学紀要 第 15 号 2017 年 3 月) ◇金沢学院大学図書館ラーニングコモンズ活用実態について (金沢学院大学紀要 経営・経済・情報・自然科学編 第 14 号 2016 年 3 月) ◇金沢学院大学における司書資格取得希望学生の意識調査 (金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編第 13 号 2015 年 3 月) ◇「利用者調査を踏まえた学修支援サービスの展開—金沢学院大学図書館における事例—」(金沢学院大学紀要 第 15 号 2017 年 3 月) ◇「金沢学院大学図書館における読書支援の事例報告—ブックシェアの取り組み—」(大学図書館問題研究会誌 第 44 号 2018 年 4 月) ◇「青春の門論—高校生読者の視点から—」(金沢学院大学紀要 第 17 号 2019 年 3 月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学図書館の利用促進について 司書課程履修者のこれまでの図書館利用状況について 高度経済成長期以降の高校生の読書傾向の変化について

(Yusuke Mizuhashi)

講師

水橋 雄介



- ① 担当科目 : 教育原論 教育原理 道德教育論 フランス語 I・II
- ② 生年月月 : 1988/12
- ③ 出身学校 : 大阪大学
- ④ 学 位 : 博士 (人間科学)
- ⑤ 所属学会 : 西田哲学会、実存思想協会
- ⑥ E-mail : mizuhashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「京都学派の教育学を捉え直す—後期西田における倫理の基礎付けをめぐって」、金沢学院大学 教職センター紀要 (第 3 号)、pp. 95-113、2020 年 3 月 ◇「道德教育は何を教えるべきか—対話と道德の教育可能性に関して」、金沢学院大学 教職センター紀要 (第 3 号)、pp. 197-210 ◇「感覚する現在—西田幾多郎『自覚における直観と反省』におけるヘルマン・コーヘン受容をめぐって」、西田哲学会年報 (第 15 号)、pp. 126-141、2018 年 7 月 ◇「述語とパースペクティブ—西田幾多郎『意識の問題』でのパースペクティブと衝動」、大阪大学人間科学研究科 共生学ジャーナル (第 2 号)、pp. 58-81、2018 年 3 月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

明治以降の日本の哲学、特に西田幾多郎の哲学の研究

(Shinita Moroe)

助教

諸江 真一



スポーツ実技XIV(サッカーⅠ) スポーツ実技XV(サッカーⅡ) 学修基礎 サッカー指導演習 専門演習Ⅰ

- ① 担当科目 : 専門演習Ⅱ スポーツトレーナー演習 球技論 情報活用演習 スポーツ技術・戦術論 球技演習Ⅰ キャリアデザインⅡ
- ② 生年月 : 1967/4
- ③ 出身学校 : 大阪商業大学
- ④ 学位 : 学士
- ⑤ 所属学会 : 日本健康行動科学会
- ⑥ E-mail : s-moroe@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

《競技歴》

- ・ U-21 サッカー日本代表
- ・ 関西学生サッカーリーグベストイレブン

《指導資格・指導歴》

- ・ 日本サッカー協会公認A級コーチジェネラル
- ・ 日本サッカー協会公認C級・B級インストラクター

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

サッカーのキック動作における分析、サッカーにおけるコーチング サッカーにおけるチームマネジメント、サッカーについての戦術 他

金沢学院短期大学

- ・ 現代教養学科
- ・ 食物栄養学科
- ・ 幼児教育学科

金沢学院短期大学

学 長 川村 美笑子

副学長 河内 久美子

	教授	准教授	講師	助教
現代教養学科	河内久美子 ○高他 毅 村上 智 (松井 良雄)	(小里 千寿)	杉本亜由美	
食物栄養学科	小原 晴樹 ○原田 澄子	本多佐知子 前田 理香 安嶋まなみ	金浦 修郎 多田 邦宏 真木 瑛	平山 雄大
幼児教育学科	鈴木 賢男 寺田 達也 ○吉田 若葉	高木香代子	砂山真喜子	白江 寿美 棒田 美江 日光 恵利

○：学科長

※（ ）は大学兼務

(五十音順)

(Takeshi Takata)

教授 **高他 毅**



- ① 担当科目 : 社会学Ⅰ・Ⅱ 現代社会論 情報社会論Ⅰ・Ⅱ 現代社会
とキャリア 地域プロジェクト
② 生年月 : 1959/8
③ 出身学校 : 東京大学
④ 学位 : 学士
⑤ 所属学会 :
⑥ E-mail : t-takata@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇「宗教はポスト・モダンを担いうるか」(共著、中央公論新社「中央公論」第100巻第2号 pp206-233) THE THUNDERING WORLD OF THE TAIKO(ルックジャパン「LOOK JAPAN」巻号43(502)pp30-33)
◇「俵夫と軍人と教師と交換経済 —『無法松の一生』において表象された近代と『國民』の未生一」(金沢学院短期大学紀要第16号 pp7-28)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他
戦後日本の人口移動と文化状況の関連性

(Satoshi Murakami)

教授 **村上 智**



- 国内旅行業実務 海外旅行業実務 国内／海外観光地理
① 担当科目 : ホテルブライダル概論 ホテル実務 ブライダル実務
観光学概論 総務労務管理 基礎ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ 他
② 生年月 : 1966/4
③ 出身学校 : 新潟大学
④ 学位 : 法学士
⑤ 所属学会 : 日本観光学会 東北史学会 観光学術学会
⑥ E-mail : s-murakami@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇道の駅・美濃の研究◇石川県インバウンドの研究◇日本史をコンテンツとした観光研究

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ◇観光教育・観光人材育成 ◇歴史ストーリーの観光コンテンツ化への可能性について

(Haruki Ohara)

教授 **小原 晴樹**



- ① 担当科目 : 教育制度論 教育制度論
- ② 生 年 月 : 1953/1
- ③ 出身学校 : 同志社大学
- ④ 学 位 : 文学士
- ⑤ 所属学会 : 石川県社会教育協会 石川県教育振興会 石川県退職校長会
- ⑥ E-mail : h-ohara@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇学校運営・管理、学校の危機管理・対応、教育行政に関すること

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇公教育としての学校制度

(Sumiko Harada)

教授 **原田 澄子**



- ① 担当科目 : 調理学 調理学実習Ⅰ・Ⅱ 献立作成演習 調理科学実験
栄養士基礎演習Ⅰ・Ⅱ 健康管理概論
- ② 生 年 月 : 1947/4
- ③ 出身学校 : 愛媛大学 大学院
- ④ 学 位 : 農学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本調理科学学会 日本栄養士会
- ⑥ E-mail : harada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇幼児の食事に関する調査研究◇女子短大生の食習慣とBMI、骨量の関連について◇学内給食実習の献立における一考察-加熱前、加熱後の重量変化およびミネラルの分析について◇園児・児童の食事作りの指導、親子料理教室、料理コンクール審査員等◇富山県の日常食、行事食、郷土食に関する調査研究著書◇とやまの郷土料理（春・夏編、秋・冬編）、伝統食品・食文化 in 金沢ー加賀・能登・越中・永平寺一、小児栄養学総論、食生活論、給食経営管理実習等 共著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

次世代に伝え継ぐ 富山の家庭料理 親子食育講座

(Masao Suzuki)

教授 **鈴木 賢男**



- ① 担当科目 : 地域と子どもⅠ・Ⅱ 教育心理学 情報処理
- ② 生年月 : 1963/2
- ③ 出身学校 : 文教大学人間科学部 金沢大学大学院教育学研究科
- ④ 学位 : 教育学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本教育心理学会 日本心理学会 日本発達心理学会
日本イメージ心理学会 日本感情心理学会
- ⑥ E-mail : m-suzuki@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇幼児期における主体性の評価についての心理学的意義 —教育環境での主体性尺度を発達的観点から検討した総合的な試論—, 金沢学院大学教育研究所紀要第1号, pp. 189-202, 2017◇大学生の学習観についての特徴 — 質的研究におけるトライアングレーションの試み —, 文教大学言語と文化研究所紀要, 第30号, pp. 131-160, 2018 (共著) ◇幅広い異年齢集団の遊びにおける幼児・児童の主体性と協同性の在り方 — 2018年「こどもかれっじ」サマースクールを対象とした実践 —, 金沢学院短期大学紀要, 第17号, pp. 87-106, 2019◇初年度大学生における主体性の評定と学期終了時の学習評価との関連 — 主体性を特徴づける学業生活における意識 —, 文教大学人間科学研究, 第39号, pp. 173-184, 2018 (共著)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①幼児から大学生および社会人における学習観や学習スタイルのあり方と学業生活への効果や影響 (主として、学習を中心とした諸活動における主体性の心理学的意味の考察、および尺度の作成と評価) ②諸活動におけるためらい (躊躇) に作用する要因、ためらい (躊躇) の心理学的意義の検討 (主として、ためらいにおける時間的猶予とマインドワンダリングとの関連)

(Tatsuya Terada)

教授 **寺田 達也** 人文学研究科担当



- 近・現代文学講読A 近・現代文学演習A 日本語Ⅰ・Ⅱ
- ① 担当科目 : ことば 日本語、国語 地域と子どもⅠ・Ⅱ 金沢の文学卒業研究
- ② 生年月 : 1967/6
- ③ 出身学校 : 東京大学
- ④ 学位 : 修士 (文学)
- ⑤ 所属学会 : 日本近代文学 日本文学協会 東京大学国語国文学会
- ⑥ E-mail : terada@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「絵本における「語り」の分析—児童文化財への「語り」論の応用—」(『金沢学院短期大学紀要』第18号、令和2年3月) ◇「犬ころポチ」物語の読み聞かせ教材化—児童文化財としての二葉亭四迷「平凡」—」(『金沢学院大学教育研究所紀要』(電子版) 第1号、平成29年3月) ◇「二葉亭四迷『小説総論』と没理想論争—想実論を軸として—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第15号、平成29年3月) ◇『恋する文学〜ほくりく散歩』(共著、北國新聞社、平成26年2月) ◇『北陸 近代文学の舞台を旅して』(共著、北國新聞社、平成24年2月)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学、二葉亭四迷研究、金沢や北陸の文学、幼児教育 (ことば) 等

(Wakaba Yoshida)

教授

吉田 若葉



- ① 担当科目 : 保育内容(言葉・総合表現) 保育内容総論教育実習指導
保育実習指導 地域と子ども I・II 卒業研究
- ② 生年月 : 1948/4
- ③ 出身学校 : 北陸学院短期大学
- ④ 学位 :
- ⑤ 所属学会 : 日本保育学会
- ⑥ E-mail : wakaba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「子どもの音楽表現にみられる解放と共感」(日本保育学研究第36巻第1号) ◇「創造性豊かな保育者養成を目指す授業の工夫(報告3) - 「子どもと表現I」におけるマザーグースの活用効果 - (北陸学院短期大学紀要第38号) ◇「幼児の発達の姿を保護者と共有するクラス便り - 新幼稚園教育要領の視点からの考察 - 」(金沢学院短期大学紀要第17号) ◇「自然環境と関わる子どもの姿 - 新幼稚園教育要領の視点からの考察 - 」(金沢学院短期大学紀要第18号)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

領域及び保育内容の指導法に関する検討(科目間の連携) 異年齢の子ども交流

(Sachiko Honda)

准教授

本多 佐知子



- ① 担当科目 : 調理学実習 I・II・III 応用調理学実習
- ② 生年月 : 1955/5
- ③ 出身学校 : 大阪市立大学生活学部食物学科
- ④ 学位 : 家政学士
- ⑤ 所属学会 : 調理科学会 家政学会食文化会
- ⑥ E-mail : s-honda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理『兵庫県の家庭料理 主菜の特徴(共通題) 地域による違い』日本調理科学会, 研究発表要旨集, 2018(共著) ◇『兵庫県の家庭料理 季節ごとに見る兵庫のおやつの特徴』日本調理学会, 研究発表要旨集, 2017(共著) ◇『Effective Human Motion of Fresh Cream Mixing Extracted by a Motion Analysis』5th Asian Conference On Mixing, 2016(共同口頭発表) ◇『特別企画1「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」兵庫県の家庭料理主食の特徴 - ごはんもの - 』日本調理学会, 研究発表要旨集, p28, 2016(共著) ◇『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理 兵庫県の聞き書き調査の現状』日本家政学会食文化研究部会, 2016(口頭発表) ◇『兵庫県で昭和30・40年代に食べられていた家庭料理(その1 ごはんもの・もち)(その2 おかず他)』日本調理学会, 研究発表要旨集, p80, 2015(共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

伝え継ぐ日本の家庭料理 全16巻(農文協発行) 共著(発行済みのもの)

2017年から2021年まで、年に4冊 発行予定

- ・「すし」(2017年11月発行)・「肉・豆腐・麩のおかず」(2018年2月発行)
- ・「小麦・いも・豆のおやつ」(2018年6月発行)
- ・「魚のおかず いわし・さばなど」(2018年9月発行)
- ・「野菜のおかず 秋から冬」(2018年12月発行)
- ・「炊き込みご飯・おにぎり」(2019年3月発行)

(Rika Maeda)

准教授

前田 理香



- ① 担当科目 : 食品学総論 食品学各論 食品学実験 生物基礎 化学基礎 栄養士基礎演習Ⅰ・Ⅱ 校外実習事前・事後指導
- ② 生年月 : 1968/11
- ③ 出身学校 : 昭和女子大学大学院博士課程
- ④ 学位 : 博士(学術)
- ⑤ 所属学会 : 日本家政学会 日本栄養改善学会
- ⑥ E-mail : r-maeda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

ジアルデヒド誘導体を担体とする固定化ウレアーゼの調製とその特性 ジアルデヒドデキストリンの鞣皮性に関する研究

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

北陸地方における食文化・食育の促進及びライフステージに対応した地域特産物の食品加工について

(Manami Yasujima)

准教授

安嶋 まなみ



- 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習 学校栄養教育論 栄養
- ① 担当科目 : 教育実習 栄養士総合演習Ⅱ 子どもの食と栄養 教職実践演習(栄養教諭)
- ② 生年月 : 1965/4
- ③ 出身学校 : 上越教育大学大学院
- ④ 学位 : 教育学修士
- ⑤ 所属学会 : 日本学校保健学会 日本栄養改善学会
- ⑥ E-mail : yasujima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「小中学校栄養教諭・学校栄養職員の「食に関する指導」の実態に関する調査研究」
- ◇「朝食欠食習慣を有する大学生のための栄養教育に関する研究(第1報)」
- ◇「小・中学校児童生徒の生活習慣と学校給食に関する食意識・職行動の関連について」
- ◇「栄養学科等学生による高校生を対象とした食育講座-官学協働の食育実践報告(第1報)-」
- ◇「栄養学科等学生による高校生を対象とした食育講座-官学協働の食育実践報告(第2報)-」
- ◇「学校給食管理システムによる栄養教諭・学校栄養職員の業務効率化に関する研究」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

児童・生徒の学校給食の食べ残しに関連する要因の検討

(Kayoko Takagi)

准教授

高木 香代子



幼児体育Ⅰ・Ⅱ 保育内容(健康) 体育Ⅱ(リズムダン

- ① 担当科目 : ス) スポーツ実技Ⅵ(ダンス) 保育・教職実践演習(幼稚園) 他
② 生年月月 : 1965/8
③ 出身学校 : 金沢大学大学院
④ 学位 : 教育学修士
⑤ 所属学会 : 日本体育学会 日本介護福祉学会
⑥ E-mail : k-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「大学生の『創作ダンスの授業』に関する研究」金沢学院大学紀要 情報科学、自然科学編、第12号、2014
◇「幼児用リズムダンスに関する研究」金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編、第14号、2016(共著)
◇「幼児用リズムダンスの実践に関する研究—年少児を対象として—」金沢学院大学紀要、第16号、2018(共著)

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ダンス及び表現運動に関する研究 子どもの運動遊びに関する研究

(Ayumi Sugimoto)

講師

杉本 亜由美



キャリアプランニング 日本語Ⅰ・Ⅱ 日本語表現

- ① 担当科目 : 基礎ゼミⅡ・Ⅲ 地域プロジェクト 秘書総論 ビジネスマナー基礎 他
② 生年月月 : 1968/10
③ 出身学校 : 成蹊大学大学院文学研究科
④ 学位 : 修士(文学)
⑤ 所属学会 :
⑥ E-mail : kanaura@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇「女性のキャリア形成と企業の取り組みに関する考察」『ビジネス実務論集 36号』
◇「短期大学における敬語教育に関する考察」『ビジネス実務論集 37号』

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

キャリア教育 日本語教育

(Shuro Kanaura)

講師 **金浦 修郎**



- ① 担当科目 : 道徳教育・特別活動及び総合的な学習の研究
- ② 生 年 月 : 1944/9
- ③ 出身学校 : 金沢大学
- ④ 学 位 : 教育学士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : kanaura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『体力づくりハンドブック』作成 ◇「総合的な学習の時間」の取り組みと校長の関わり

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

道徳教育と特別活動の意義、総合的な学習の時間との繋がりを考える

(Kunihiro Tada)

講師 **多田 邦宏**



- ① 担当科目 : 健康スポーツ I・II スポーツ科学 I・II
- ② 生 年 月 : 1959/10
- ③ 出身学校 : 国士舘大学
- ④ 学 位 : 体育学士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : k-tada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

著書

◇「指導教本」(ソフトボール編)単著 平成8年3月(埼玉県教育委員会) ◇「みるみる上達するソフトボール」～神村学園の確実に強くなる練習法～ 単著 平成27年9月(ティアンドエイチ社) 海外派遣

◇国際スポーツ専門家长期派遣事業、派遣専門家(ソフトボールコーチ) 平成12年9月～平成13年3月

国体関係

◇平成6年、8年～10年 埼玉県 国体少年女子コーチ ◇平成11年 埼玉県 国体少年女子監督 ◇平成21年～24年 徳島県 国体成年女子監督 ◇平成27年～29年 鹿児島県 国体少年女子監督 主たる指導実績(ソフトボール)

◇◇平成25年 神村学園高等部 全国高校総体ベスト16 ◇平成26年 同上 全国高校総体優勝 ◇平成27年 同上 全国高校総体出場 ◇平成28年 同上 全国高校選抜大会3位、全国高校総体出場、国民体育大会準優勝 ◇平成29年 同上 全国高校選抜大会ベスト16、全国私学大会準優勝、全国高校総体5位 ◇平成30年 同上 全国高校選抜大会3位

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトボールにおけるトレーニング理論

(Akira Maki)

講師

真木 瑛



- 給食管理実習Ⅰ・Ⅱ 栄養士基礎演習Ⅰ・Ⅱ 献立作成演習
- ① 担当科目 : 校外実習事前・事後指導 給食管理実習Ⅲ・Ⅳ (校外実習)
コンピューター基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1989/02
- ③ 出身学校 : 仙台大学大学院 スポーツ科学研究科
- ④ 学位 : 修士 (スポーツ科学)
- ⑤ 所属学会 : 日本スポーツ栄養学会 日本トレーニング科学会 日本
経営管理学会 日本栄養士会 石川県栄養士会 他
- ⑥ E-mail : a-maki@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

◇アスタキサンチンの単回摂取が間欠的自転車運動時の体温および血液性状に及ぼす影響療養と治療 (2015) 共著◇地域住民を対象にした献立に係る効果的な媒体作成, 金沢学院大学紀要 (2018) 共著◇石川県 K 市に伝承されている郷土料理の栄養成分について, 金沢学院大学紀要 (2018) 共著◇モデル地区の住民を対象とした健康増進プログラムの試み, (2018) 共著◇給食経営管理基礎実習における食材費の分析, 金沢学院大学紀要 (2020) 筆頭筆者◇給食経営管理応用実習における食材費の分析, 金沢学院大学紀要 (2020) 筆頭筆者◇健康栄養学科生の抗体価検査結果のその考察, 金沢学院大学紀要 (2020) 共著

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

アスリートの食事の自己管理能力に関する研究 給食経営管理実習における食材費に関する研究 給食経営管理実習における作業時間に関する研究

(Makiko Sunayama)

講師

砂山 真喜子



- 社会福祉 子ども家庭福祉 社会的養護Ⅰ・Ⅱ 子ども家
- ① 担当科目 : 庭支援論 特別支援教育概論
- ② 生年月 : 1968/9
- ③ 出身学校 : 日本社会事業大学
- ④ 学位 : 学士 (社会学士)
- ⑤ 所属学会 : 日本子ども虐待防止学会
- ⑥ E-mail : sunayama@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

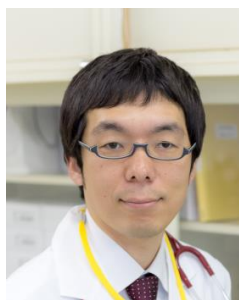
◇「社会的養護 (児童養護施設) における人材育成に係る要件に関する研究」資生堂社会福祉事業財団, 2016 - 3◇「子ども・子育て支援における市町村の役割と多機関協働に関する一考察: A 町における実践を通して」金沢星稜大学人間科学研究 9 (2), 13-18, 2016 - 3

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

保育士の資質向上に向けてのサポートのありかた NPO STARS 理事・人材育成研究局長
(<http://npo-stars.or.jp/>)

(Yuudai Hirayama)

助教 **平山 雄大**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学実習 応用栄養学実習 栄養士総合演習Ⅱ
情報処理基礎Ⅱ キャリアプランニング
- ② 生年月月 : 1985/10
- ③ 出身学校 : 名古屋学芸大学大学院
- ④ 学 位 : 修士(栄養科学)
- ⑤ 所属学会 : 日本健康・栄養システム学会 日本栄養士会
- ⑥ E-mail : hirayama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇2017年1月末まで、社会医療法人慈泉会相澤病院栄養科栄養管理部門にて勤務。栄養サポートチーム専従者を担当。また同病院の褥瘡対策委員会に所属。 ◇市民向け講座の講師「生活習慣 病予防を始める食事の一步」 ◇急性期病院から居宅に向けた継続的栄養ケアの提供について学会報告 ◇脳外科と循環器内科の外来診療における栄養指導システムを導入した4年間について学会報告 ◇日本人のたんぱく質摂取基準について、食と医療, vol.3, pp.6-13, 2017. ◇加齢による栄養状態の変化とタンパク質栄養, 日本栄養士会雑誌, vol.61, pp.31-37, 2018. ◇高齢社会におけるタンパク質の重要性, 日本栄養士会雑誌, vol.62, no.6, pp.16-20, 2019.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「食べる力」に関する研究 腎疾患・透析患者の食事療法に関する研究

(Hisami Shirae)

助教 **白江 寿美**



- 造形Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習指導 保
- ① 担当科目 : 育・教職実践演習 地域と子どもⅠ・Ⅱ 卒業研究 保育
内容(総合表現) 保育内容(言葉)
- ② 生年月月 : 1982/1
- ③ 出身学校 : 北陸学院短期大学
- ④ 学 位 : 短期大学士
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : shirae@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「幼児の発達の姿を保護者と共有する」クラス便り—新幼稚園教育要領の視点からの考察—/金沢学院短期大学紀要第16号(通関巻59巻)掲載頁: pp103~122 ◇幅広い異年齢集団の遊びにおける幼児・児童の主体性と協同性の在り方—2018年「こどもかれっじ」サマースクールを対象とした実践—/金沢学院短期大学紀要第17号(通関巻60巻)掲載頁: pp87~106 ◇竹の生長を教材として展開した実践事例から読み解く子どもの姿—5歳児の活動—/金沢学院短期大学紀要第17号(通関巻60巻)掲載頁: pp123~136

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

幼児の表現

(Yoshie Bouda)

助教 **棒田 美江**



音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ピアノレッスン 教育実習指導Ⅱ 卒業

- ① 担当科目 : 研究
- ② 生年月 : 1964/9
- ③ 出身学校 : 仁愛女子短期大学 音楽学科
- ④ 学位 : 短期大学士
- ⑤ 所属学会 : 日本ピアノ教育連盟 日本音楽教育学会
- ⑥ E-mail : y-bouda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇棒田美江ピアノリサイタル 1990年, 1992年, 2000年 ◇モーツァルト ピアノ
コンツェルト第20番 ピアノソロ 1997年 (金沢室内管弦楽団) ◇ジュール・ド・ショパン
〜ショパンの日〜 2010年 ◇バッハ ブランデンブルグコンツェルト第5番 チェン
バロソロ 2012年, 2013年 (モーツァルトアカデミー室内管弦楽団) ◇ジョイント
コンサート〜ロマン派のひととき〜 2011年 ◇親子で楽しむ名曲コンサート 2000
年〜2017年 ◇ラ・フォル・ジュルネ金沢 2010年, 2011年, 2014年, 201
6年 ◇「ピアノ音の外部遮音と内部伝導の音性能について」(共著) 金沢学院大学紀要第15
号 2017年 ◇『音楽好きに育てるための幼児期の音楽指導の研究』(単著) 金沢学院大
学教育研究所紀要 第1号 2017年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①子どもの音楽遊び ②ピアノ演奏表現

(Eri Nikko)

助教 **日光 恵利**



地域と子どもⅠ・Ⅱ 卒業研究 子育て支援保育の心理学

- ① 担当科目 : 保育内容総論Ⅱ 子どもの理解と援助 障がい児保育
幼児理解と教育相談 保育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・
Ⅱ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 教育実習指導Ⅰ・Ⅱ
- ② 生年月 : 1985/5
- ③ 出身学校 : 兵庫教育大学大学院
- ④ 学位 : 修士(教育学)
- ⑤ 所属学会 : 日本保育学会, 乳幼児教育学会, OMEP 日本委員会, 幼年
教育実践学会
- ⑥ E-mail : eri-n@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇保育士主体のコンサルテーションによる気になる子どもへの支援—M 保育園における巡回相談
の試み— (2017.3) ◇キンダーカウンセラー事業による継続的な支援についての効果の実感—気
になる子どもに対する保育効力感に着目して— (2018.3) ◇保育内容総論における乳児保育内容
に関する一考察 (2018.3) ◇保育所養成校における「お話し会プログラム」の実践—2年次ゼミ
におけるアクティブ・ラーニングの試み— (2018.12) ◇保育所養成校における「お話し会プロ
グラム」の実践—2年次ゼミにおけるアクティブ・ラーニングの試み2— (2019.12)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

気になる子どもの保育 子育て支援

大学院担当教員

	教授	准教授	講師	助教
人文学研究科	秋山 稔 石崎 建治 薮 際子 ○水洞 幸夫 寺田 達也 寺田 智美 馬場先恵子	坂東 貴夫 本多 俊彦	井内 健太 加来 奈奈 佐々木 聡 松村祐香里	
経営情報学研究科	石川 温 *M*D 井手 秀樹 *M*D 大野 尚弘 *M*D 岡田 政則 *M 奥井めぐみ *M*D 桑野 裕昭 *M*D 佐藤 淳 *M 高橋 啓 *M*D ○田中 晴人 *M*D 土屋 雅一 *M 豊田 欣吾 *M 根本 博 *M*D 古谷 京一 *M	中村 直行 *M 渡邊 誠士 *M*D 藤本 祥二 *M		
スポーツ健康学研究科	外山 寛 福井 卓也 ○藤原 勝夫 丸山 章子 渡辺 涼子		清田 直恵 山脇あゆみ	菊政 俊平 棟田 雅也

○：研究科長

(五十音順)

*M：博士前期課程担当教員

*D：博士後期課程担当教員

専任教員索引（五十音順）

◆所属学部 文学部：文学 経済学部：経済 経済情報学部：経済情報 芸術学部：芸術
人間健康学部：人間健康 基礎教育機構：基礎 短期大学：短大

氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁
秋山 稔	文学	1	白江 寿美	短大	83	林 直之	人間健康	60	渡邊 琢夫	人間健康	61
浅田 孝紀	文学	18	水洞 幸夫	文学	2	原田 澄子	短大	76	渡辺 直勇	人間健康	58
荒川 昭広	芸術	47	杉本 亜由美	短大	80	坂東 貴夫	基礎	70	渡邊 誠士	経済	35
飯田 栄治	芸術	47	鈴木 賢男	短大	77	平方 裕久	経済	36	渡辺 涼子	人間健康	57
飯田 範子	人間健康	58	鈴木 三枝	人間健康	59	平木 孝志	芸術	49			
石川 温	経済情報	39	砂山 真喜子	短大	82	平山 雄大	短大	83			
石崎 建治	文学	8	田井 勇毅	人間健康	64	広根 礼子	芸術	52			
市島 桜魚	芸術	48	高 賢一	人間健康	55	福井 卓也	人間健康	56			
井手 秀樹	経済	30	高木 香代子	短大	80	藤本 祥二	経済情報	43			
井内 健太	文学	19	高他 毅	短大	75	藤森 慎一	文学	17			
上野 学	経済	36	高橋 啓	経済	3	藤原 勝夫	人間健康	56			
靱江 静	文学	19	高橋 栄一	文学	22	藤原 正光	文学	14			
枝元 香菜子	文学	27	高橋 徹	人間健康	59	ブラサド ゴータム	経済情報	42			
大上 真礼	文学	20	竹澤 賢樹	文学	28	古谷 京一	経済	32			
大野 尚弘	経済	32	竹村 裕樹	基礎	68	棒田 美江	短大	84			
岡 秀夫	文学	11	多田 孝志	文学	13	本多 俊彦	文学	15			
岡田 政則	経済情報	39	多田 邦宏	短大	81	本多 佐知子	短大	78			
小形 優人	経済情報	44	田中 晴人	経済	33	前川 浩子	文学	11			
奥井 めぐみ	経済	30	田邊 俊治	文学	13	前田 理香	短大	79			
奥泉 敦司	文学	24	千葉 歩美	人間健康	66	真木 瑛	短大	82			
小原 晴樹	短大	76	塚崎 玲子	文学	17	増淵 幸男	文学	14			
加来 奈奈	文学	20	土屋 雅一	経済	34	松井 良雄	経済情報	41			
笠間 弘美	文学	12	鶴見 田鶴子	人間健康	61	松下 明日香	文学	28			
加藤 謙一	芸術	53	寺田 達也	短大	77	松村 祐香里	文学	23			
加藤 里紗	経済	35	寺田 智美	文学	9	マラット ザニクエフ	経済情報	43			
金浦 修郎	短大	81	戸根 比呂子	文学	22	丸山 章子	人間健康	57			
川村 美笑子	人間健康	4	外山 寛	人間健康	55	水橋 雄介	基礎	71			
菊政 俊平	人間健康	65	豊田 欣吾	経済	31	三ツ口 千代菊	人間健康	62			
木村 昭雄	文学	16	中川 恵理子	基礎	71	棟田 雅也	人間健康	66			
清田 直恵	人間健康	63	中崎 崇志	文学	10	村上 智	短大	75			
桑野 裕昭	経済情報	40	中島 彰史	文学	10	村谷 聡志	芸術	53			
河内 久美子	短大	5	中村 晋也	基礎	69	村松 麻里	文学	26			
小里 千寿	経済情報	42	中村 直行	基礎	70	室橋 弘人	文学	23			
越田 久文	芸術	50	南雲 まき	文学	25	諸江 真一	基礎	72			
小島 ショニー	文学	21	七尾 由美子	人間健康	60	安井 孝志	人間健康	63			
児島 新太郎	芸術	51	西田 伸一	芸術	48	安嶋 まなみ	短大	79			
小嶋 祐同郎	文学	12	西村 栄恵	人間健康	62	柳橋 広司	芸術	50			
後藤 弘光	経済情報	44	日光 恵利	短大	84	山口 真希	文学	27			
小西 尚之	基礎	69	丹羽 俊夫	芸術	49	山脇 あゆみ	人間健康	64			
小平 豊彦	文学	25	根本 博	経済	31	吉田 一誠	芸術	52			
佐田東 彰	文学	16	野田 祐輔	経済情報	45	吉田 若葉	短大	78			
佐々木 聡	文学	21	野寺 巧寛	人間健康	65	米川 泉子	文学	18			
佐々木 圭一	経済情報	40	乗富 章子	文学	26	米澤 順一	経済	34			
佐藤 淳	経済	33	羽場 文彦	芸術	51	米澤 利明	文学	15			
部 際子	文学	8	馬場先 恵子	経済情報	41	リチャード・グラッシ	文学	24			
土農 力	基礎	68	林 文慧	経済	37	ロバート・カンガム	文学	9			